

# 令和 4 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

---

- 1 総括
- 2 管理体制
- 3 運営および経営取組
- 4 動物の飼育管理
- 5 施設等の維持管理
- 6 管理運営経費

# 令和4年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1	総括	5
2	管理体制	5
	(1) 動物園等の管理体制	5
	(2) 人材マネジメントの取組	7
	(3) リスクマネジメントへの対応	10
3	運営および経営取組	12
	(1) 目標達成状況	12
	(2) マーケティング戦略の展開	13
	(3) 動物園マネジメントの取組	25
	(4) 学校教育の取組	30
4	動物の飼育管理	32
	(1) 飼育現場での取組	32
	(2) 保全に貢献する取組	36
	(3) 調査・研究などに対する取組	42
5	施設等の維持管理	44
	(1) 施設及び設備の維持管理	44
	(2) 園地及び遊具等の維持管理	45
	(3) 施設及び設備等の安全対策	46
6	管理運営経費	47
	(1) 算定の考え方	47
<b>参考資料</b>		
1	金沢動物園開園40周年の取組	50
2	広報印刷物実績	50
3	ホームページでの情報発信実績	51
4	寄付を活用した展示場改修等の実績	53
5	学校教育向けプログラム実績	53
6	動物園研究会実績	55

指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階（本部）
代表者	理事長 福山 一男
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日（よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園）

施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175- 1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園（動物園を除く）		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65- 1（こども自然公園内）	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15- 1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園（動物園を除く）		

動物点数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

よこはま動物園	98 種 531 点
野毛山動物園	76 種 1, 626 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 120 点
小計	76 種 1, 746 点 ※同じ種を 2 園で飼育（3 種）
金沢動物園	54 種 1, 058 点
合計	199 種 3, 335 点

□入園者数（単位：人、カッコ内は前年度比％）

年 度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476（－）	354,504（75.7%）	133,355（113.2%）	399,049（65.8%）	3,133,384（－）
H12	1,336,842（59.5%）	374,400（105.6%）	126,780（95.1%）	283,051（70.5%）	2,121,073（67.7%）
H13	1,267,011（94.8%）	509,514（136.1%）	143,070（112.8%）	286,170（101.1%）	2,205,765（104.0%）
H14	1,066,189（84.1%）	474,984（93.2%）	126,192（88.2%）	268,841（93.9%）	1,936,206（87.8%）
H15	1,059,479（99.4%）	531,661（111.9%）	158,962（126.0%）	271,463（101.0%）	2,021,565（104.4%）
H16	959,749（90.6%）	449,658（84.6%）	185,484（116.7%）	264,134（97.3%）	1,859,025（92.0%）
H17	1,014,329（105.7%）	497,875（110.7%）	172,911（93.2%）	288,524（109.2%）	1,973,639（106.2%）
H18	1,044,563（103.0%）	542,537（109.0%）	157,654（91.2%）	310,237（107.5%）	2,054,991（104.1%）
H19	1,107,583（106.0%）	547,461（100.9%）	131,037（83.1%）	301,503（97.2%）	2,087,584（101.6%）
H20	1,153,756（104.2%）	577,807（105.5%）	134,547（102.7%）	330,496（109.6%）	2,196,606（105.2%）
H21	1,221,868（105.9%）	680,777（117.8%）	140,678（104.6%）	355,067（107.5%）	2,398,390（109.2%）
H22	978,791（80.1%）	659,759（96.9%）	105,277（81.8%）	316,843（89.2%）	2,060,670（85.9%）
H23	959,231（98.0%）	765,085（115.9%）	128,577（122.1%）	292,333（92.2%）	2,145,226（104.1%）
H24	889,489（92.7%）	992,464（129.7%）	164,733（128.1%）	279,980（95.7%）	2,326,666（108.4%）
H25	920,787（103.5%）	968,855（97.6%）	174,078（105.6%）	284,843（101.7%）	2,348,563（100.9%）
H26	941,781（102.2%）	1,012,000（104.4%）	185,864（106.7%）	285,459（100.2%）	2,425,104（103.2%）
H27	1,216,132（129.1%）	1,095,448（108.2%）	138,266（74.6%）	287,099（100.6%）	2,736,945（112.9%）
H28	1,086,486（89.3%）	844,401（77.1%）	121,509（87.9%）	305,858（106.5%）	2,358,254（86.2%）
H29	1,149,654（105.8%）	721,131（85.4%）	126,563（104.2%）	321,990（105.3%）	2,319,338（98.3%）
H30	1,077,317（93.7%）	638,518（88.5%）	121,219（95.8%）	299,098（92.9%）	2,136,152（92.1%）
R1	982,820（91.2%）	548,927（86.0%）	106,528（88.0%）	246,982（82.6%）	1,885,257（88.3%）
R2	754,247（76.7%）	390,886（71.2%）	34,202（32.1%）	263,224（106.6%）	1,442,559（76.5%）
R3	1,032,780（136.9%）	500,925（128.2%）	65,107（190.4%）	322,346（122.5%）	1,921,158（133.2%）
R4	1,027,968（99.5%）	517,802（103.4%）	64,281（98.7%）	288,689（89.6%）	1,898,740（98.8%）

■令和元年度

- ・ 3園：2月29日から3月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園。

■令和2年度

- ・ 3園：4月1日から6月10日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園。  
よこはま：6月11日から9月6日まで1日当たりの入園者数を先着順により5,000人程度に制限。
- ・ よこはま：9月7日から10月18日まで1日当たりの入園者数を事前予約制（インターネット・電話）により5,000人程度に制限。
- ・ よこはま：10月19日から3月31日平日の事前予約は不要とし、土日祝日は事前予約制（インターネット・電話）により1日当たりの入園者数を8,000人程度に制限。
- ・ 野毛山（万騎が原除く）：6月土日臨時休園。
- ・ 万騎が原：2月15日から3月31日まで工事のため臨時休園。

## ■令和3年度

- ・ よこはま：4月1日～8月3日まで土日祝日上限8,000人の事前予約制を導入。
- ・ よこはま：8月4日～9月30日まで平日も上限8,000人の事前予約制を導入。
- ・ よこはま：10月1日～11月30日まで平日の事前予約を不要とし、土日祝日のみ上限8,000人の事前予約制を実施。
- ・ よこはま：12月1日～土日祝日の事前予約制をとりやめ、すべての入園について予約不要とする。
- ・ 万騎が原：1月2日～3月21日：管理事務所外壁改修工事のため臨時休園。

## 1 総括

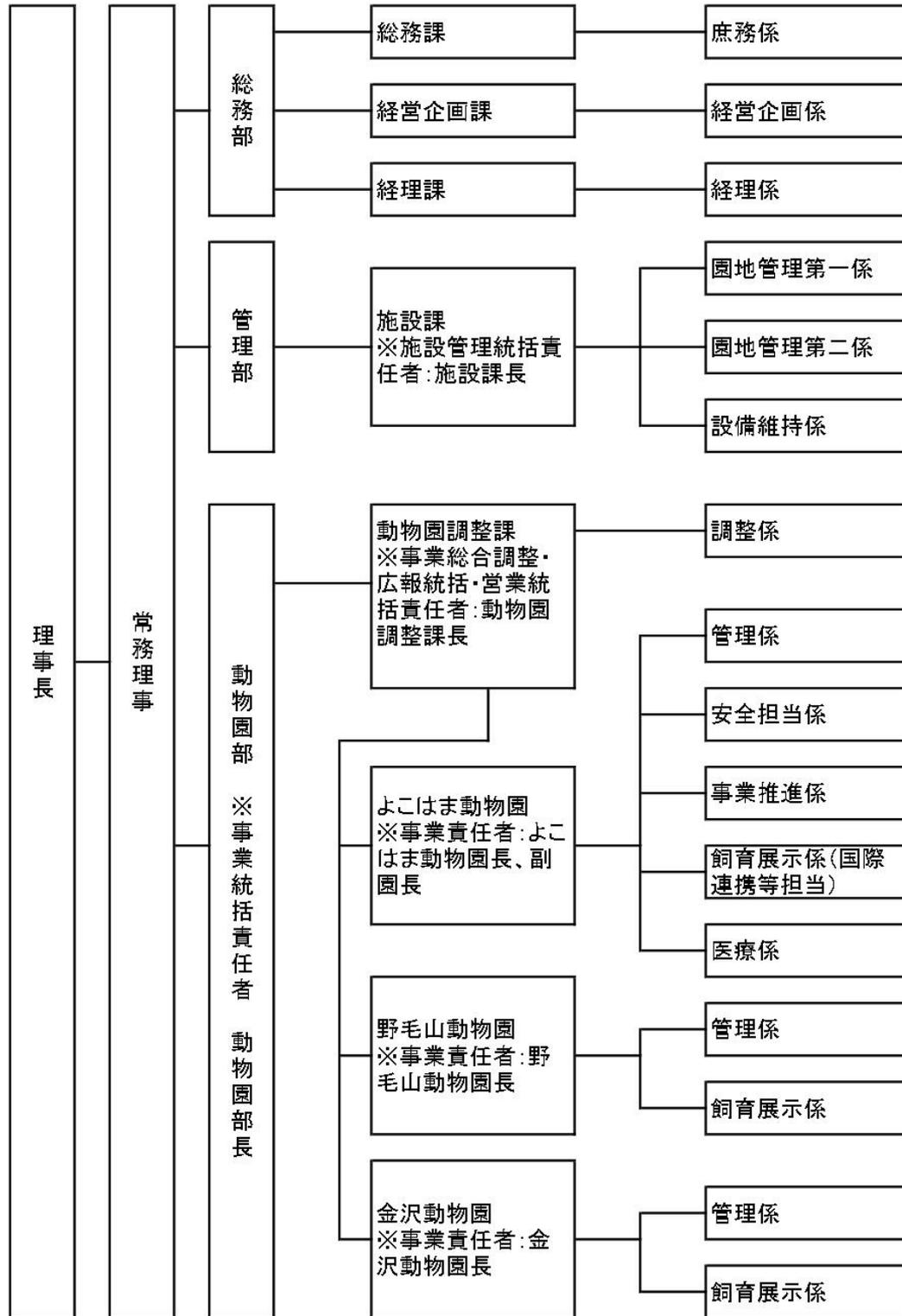
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）拡大防止対策について、市の通知や関連ガイドラインに則した対応を行いつつよこはま夜の動物園等の集客イベントも再開し、アフターコロナに向け様々な事業を実施しました。

## 2 管理体制

### （1）動物園等の管理体制

3園の事業統括責任者として動物園部長を単独で配置しました。本部、3動物園、横浜市との総合的な調整を行うため、単独で動物園調整課長を配置し、必要に応じ本部役員まで判断を仰ぎ、適切にガバナンス体制を整えました。また、営業部門を動物園調整課に統合し効率的な体制とすると共に、よこはま動物園での国際連携等を強化するため、新たに担当係長を配置しました。

【令和4年度事業執行体制図】



### コロナ対策の取組

#### ① 来園者に対する取組

横浜市からの感染防止に係る通知や各種ガイドライン等に基づき、マスク着用、手指のアルコール消毒の実施、園内施設のこまめな消毒、密を避けるためのサインの掲出や呼びかけを行いました。

## ② 職員に対する取組

各園においては、職員向けのガイドラインを整備し、検温等の記録シートによる確認、就業中のマスク着用、手指消毒、手洗い等の感染防止対策を徹底したほか、業務の状況を勘案しつつ、時差出勤、臨時的通勤手段の変更等の対策を行いました。

## (2) 人材マネジメントの取組

平成27年に策定した人材育成ビジョンを7年ぶりに改定し、職員に対し育成方針や職種ごとの果たすべき役割を説明し、令和5年度からの実施に向けた準備を行いました。引き続き動物職、獣医職等の専門職の育成については、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせて人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。また、将来的なマネジメント層の育成・専門性向上を図るため、中堅職員研修、マーケティング研修（SNSの活用と評価）、ファンドレイジング研修を実施しました。

### ① 人材育成基本方針

- ア 職員の「成長実感＝やりがい」を支援する
- イ 職員の能力を向上させ、「自信」を育む
- ウ 「人を育てる組織風土」を醸成し、組織全体の力を高める

### ② 職種ごとの果たすべき役割（人材育成ビジョンより抜粋）

職種	果たすべき役割
事務	施設の管理運営や文書事務のエキスパートとしての役割を担うとともに、市民や横浜市などのステークホルダーと積極的に対話し、調整します。
造園	利用者が安全に施設利用できるよう定期点検、予防保全を図るとともに、地球環境問題への適応策としての緑化、市民連携、環境教育といった幅広い業務に対応します。
動物・獣医	地球の豊かさを未来につなげる役割を担うとともに、市民や国内外の動物園などのステークホルダーと積極的に対話し、調整を図ることで動物園のプレゼンスを高めます。

### ③ 研修実施・参加実績

研修や講習への参加のほか、イベントや広報、防災等の展示会に適宜参加し、最新の知見を取得するよう努めました。

#### <基本研修>

実施日時	研修名	対象者
毎月	情報セキュリティ研修	全職員
8月8日、9日	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、前回受講から 3年経過した者
8月～12月 DVD視聴	CS・接遇研修	全職員
8月～12月 DVD視聴	人権啓発研修	全職員
8月～12月 DVD視聴	個人情報保護研修	全職員
12月～1月 DVD視聴	ハラスメント研修	管理職
12月～1月 DVD視聴	メンタルヘルスケア研修	管理職

2月3日	安全運転講習	自動車運転従事者
適宜（管理職から職員へ各所属にて実施）	職員向けメンタルヘルスケア研修	全職員

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者
毎月	楽しく学ぶ動物園学（よこはま動物園園長による講義）	動物職員
毎月	動物園研究会	各動物園職員
10月18日	関東東北・北海道ブロック事務主任者会議	事務職員
12月9日、16日	野生動物保護研修（海洋生物の保全）	各動物園職員
12月～3月	WILD ABOUT WELFARE E-Learning（※WILD WELFARE 主催）	動物職員
1月12日～2月16日（全6回）	手話講習	各動物園職員
1月31日	準認定ファンドレイザー必修研修（新規）	動物園調整課職員
1月18～20日	動物園技術者研究会	動物職員
1月24日	油等汚染事故対策水鳥救護研修（現地研修）	動物職員
1月24日、25日	動物園参加型研修会（オンライン教育プログラムの開発と工夫）	動物職員
2月（適宜）	ヒヤリハット研修	動物職員
2月28日～3月3日	ミュージアム PR 研修（新規）	動物職員
3月13日	関東東北・北海道ブロック動物園飼育係研修会（安全管理・危機管理等）	動物職員
3月15日	関東東北・北海道ブロック水族館飼育係研修会（子供たちのいきものへの関心を高めるワークショップ開発）	動物職員

※WILD WELFARE とは

動物飼育施設を専門技術でサポートする NGO。飼育下動物の動物福祉水準の向上のため、世界動物園水族館協会（以下「WAZA」という。）と連携している。

< 階層別研修 >

実施日	研修名	対象者
4月1日、4月4日	新採用飼育・ガイド研修	新採用動物・獣医職員
11月16日、17日	管理職研修	管理職

1月30日	中堅職員研修（問題解決）	30代前後の職員
2月1日	マーケティング研修（SNSの活用と評価）	事務職員

#### <MBO（目標管理制度）>

各園の目標を職員が共有し、職員一人一人が上司と相談しながら各園の目標達成に向けた自らの年間目標を設定し、進捗管理を行いました。業務改善や目標の達成に向けて自ら取り組むことで、職員のモチベーション向上を図っています。

#### ④ 資格取得の奨励

新たに、（公社）日本動物園水族館協会（以下、「日動水」という。）が実務経験者を対象に、飼育技術の向上と動物園水族館の発展にさらなる貢献することを目的とした飼育技師上級試験に15名が合格しました。また、業務を安全に遂行するため、76名が様々な資格を取得しました。

#### 【資格取得実績】

資格名	取得目的	取得人数
飼育技師	飼育関係職員の資質向上のため（日動水加盟園館在籍2年以上）	5名（よ）、4名（野）、1名（金）
飼育技師（上級）（新規）	飼育関係職員の資質向上のため（飼育技師を有し、日動水加盟園館在籍10年以上）	13名（よ）、1名（野）、1名（金）
フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	獣舎清掃に必要なため	2名（よ）
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	展示場の除草に必要なため	6名（よ）、3名（金）
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	止まり木のメンテナンス等高所での作業に必要なため	6名（よ）、3名（野）
伐木作業の業務に係る特別教育	止まり木の交換作業等に必要なため	3名（よ）、2名（金）
振動工具特別教育	飼育環境整備に必要なため	7名（よ）
丸のこ等取扱い作業従事者に対する安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	2名（よ）、10名（野）
自由研削といし取替試運転作業者特別教育	飼育環境整備に必要なため	4名（野）
小型車両系建設機械運転の特別教育（ボブキャット）	飼育環境整備に必要なため	2名（金）
危険物取扱者資格	飼育環境整備に必要なため	1名（金）

#### ⑤ 安定的な雇用と技術継承への取組

令和3年度末に職員3名が退職し、そのうち1名が再雇用と採用しました。また、新たに3名の職員を採用し、若年層を補強とともに職員を増員し体制を強化しました。また、若手職員への技術継承にもOJTを通じて取組みました。

**【主な技術継承への取組の一例】**

動物園	取組の一例
よこはま	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルにそって育成を実施。
野毛山	採用3年未満の職員に対し、担当外動物の応援作業業務に関する研修を実施。
金沢	ゾウ及びコアラ飼育担当職員に対し、マニュアルにそって育成を実施。

⑥ 良好な職場環境作りへの取組

職員が安全に業務に取り組めるよう、健康管理・職場環境の向上に努めました。また、横浜健康経営認証<sup>\*</sup>において新たに上位認証である「クラスAA」を取得し、外部講師による健康講習会等を実施しました。

**【健康管理・職場環境づくり実績】**

項目名	実施日
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
定期健康診断	7月～12月
健康講習会（安全衛生委員が代表して受講）	11月
特定業務従事者健康診断（レントゲン、滅菌、潜水作業等）	年2回
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
コロナ感染防止対策の実施（手指消毒薬の設置、共用部分の消毒、定期的な換気等）	常時
公用車へのドライブレコーダー取り付け	常時
一般的な感染予防対策	適宜
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

※横浜健康経営認証とは

職員の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を外部委員で構成される委員会で審査、横浜市長が認証する制度（健康福祉局保健事業課所管事業）。

⑦ 女性の活躍推進に関する取組

厚生労働省が定める、女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準の5項目全てを満たし、実施状況を女性の活躍推進企業データベースに毎年公表していることから「えるぼし（3つ星）」の認定を受けました。最上位であるプラチナえるぼしの認定を目指し、今後も女性が活躍し働きやすい職場作りに取り組んでいきます。

(3) リスクマネジメントへの対応

緊急時に対応する体制やマニュアルの整備を行い、定期的な訓練を行いました。道路交通法の改正に合わせ、運転前のアルコールチェックの開始を行うとともに、よこはま動物園で発生した水質事故をふまえ薬品等取扱マニュアルを作成し、薬品タンクの定期点検方法、流出時の初期対応フロー及び流出した薬品の処理方法等を周知徹底しました。

## 【訓練実施実績】

### <情報受伝達訓練（当団体全体）>

実施日	令和4年9月17日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、約300名
訓練内容	午前11時に、横浜市域で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査し、動物園調整課に情報を集約し、各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

### <防災訓練>

実施日	よこはま：令和4年9月29日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、31名
訓練内容	旭消防署都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。所長から防災について講和を受け、訓練では炎に見立てたプレートに向かい放水する消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験、屋内消火栓を使用したホースの接続や操作、放水を体験した。

実施日	野毛山：令和4年9月26日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、万騎が原委託業者スタッフ18名
訓練内容	西消防署への事前相談の下、災害時の自身の役割の確認、来園者誘導と緊急車両の導線確保訓練、担架の使用法、水消火器による消火訓練を実施した。

実施日	金沢：令和4年12月12日、13日
参加人数	金沢消防署釜利谷出張所長1名、当団体職員13名、委託業者スタッフ9名
訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。園内に常設の散水栓を使用した放水訓練。水消火器による消火訓練。カフェ厨房の火災報知器を発報させ、初期消火・来園者避難誘導訓練を行った。

### <動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	よこはま：令和5年2月7日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生した想定の下で、アフリカライオン逃亡時の避難誘導・動物捕獲の訓練を実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。

実施日	野毛山：令和5年2月27日
参加人数	当団体職員 20名
訓練内容	飼育係職員の人的ミスで危険獣（ライオン）が逸走した想定の下で、避難誘導・動物捕獲の訓練を実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。

実施日	金沢：令和5年2月6日
参加人数	当団体職員 34名
訓練内容	カンガルー2頭が逸走した想定の下、避難誘導及び動物捕獲訓練を実施した。その他、捕獲用具点検、麻酔銃試射訓練、発電機手動始動訓練を実施した。

### 3 運営および経営取組

#### (1) 目標達成状況

##### ①入園者数

コロナ禍における新しい生活様式の浸透もあり、目標入園者数には届かなかったものの、2年連続でよこはま動物園では100万人、野毛山動物園は50万人を超えるお客様に来園いただきました。

園名	目標入園者数	令和4年度入園者数 (目標達成率)
よこはま	1,250,000人	1,027,968人(82.2%)
野毛山	700,000人	517,802人(74.0%)
金沢	330,000人	288,689人(87.5%)

##### ②種の保存(国際的な繁殖計画への参画・連携数)

生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら、動物の移動や繁殖等の飼育管理により、飼育下個体群の遺伝的多様性の保持に努めました。感染症や法的規制で海外からの収集が困難になることを見据え、下記の取組概要のとおり目標達成に向け、2段階に分けた取組をすすめ、国際的な繁殖計画に沿ったレッサーパンダの繁殖に成功しました。

目標	セスジキノボリカンガルー・レッサーパンダ等10種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	<p>&lt;ペアリングを行い繁殖に向け重点的に取り組む種&gt; 5種</p> <p>① セスジキノボリカンガルー (GSMP) : ペアリングを実施 (達成)</p> <p>② レッサーパンダ (GSMP) : 7月1日に2頭誕生し、順調に育成中 (達成)</p> <p>③ オカピ (SSP) : 2月28日に出産するも死産 (達成)</p> <p>④ スマトラトラ (GSMP) : 発情が確認できずペアリング断念。令和5年度に向けた個体移動を調整 (達成)</p> <p>⑤ ヤブイヌ (EEP) : ペアリングを実施 (達成)</p> <p>&lt;累代繁殖を継続するため、海外との収集、交流に取り組む種&gt; 5種</p> <p>⑥ テングザル : 1年間の飼育委任について覚書の締結を調整中。原契約の更新についても調整継続中 (達成)</p> <p>⑦ コアラ (アンバサダー契約) : アンバサダー契約に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告の提出や個体導入に向けた継続的な調整を実施 (達成)</p> <p>⑧ インドライオン : インドからの個体導入の調整を中止し、新たにシンガポールからの個体導入について調整を開始 (達成)</p> <p>⑨ オオアライクイ : ブラジルからの返答がないため中止し、引き続き海外からの導入について検討中 (継続)</p> <p>⑩ ヘサキリクガメ : 国際血統登録者 (兼 EEP 調整者) およびカーディフ大学 (イギリス) と協力して遺伝子解析の実施に向けた調整を実施 (達成) (コロナの関係で事業の進捗が滞っている。)</p>

\*GSMP : 世界動物園水族館協会 (WAZA) が策定する国際種管理計画

\*SSP : 北米動物園水族館協会 (AZA) が策定する種保存計画

\*EEP : 欧州動物園水族館協会 (EAZA) が策定する欧州絶滅危惧種計画

### ③ 学校教育プログラムの改善

プログラムの改廃により 27 種のプログラムを実施し、目標 3 件に対し、4 件のプログラム内容を改善しました。

目標	学校等の団体に 27 種の学校教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を 4 件以上行うこととする。
取組概要	<p>&lt;プログラム内容変更&gt;</p> <p>① 中学校以上向けのプログラム「動物園の概要」を廃止し、飼育員を目指す生徒へ向けた「ズーラシアの飼育員」に改定した（よこはま）</p> <p>② 中学校以上向けのプログラムとして動物園の取組をつたえる「動物福祉の取組」を開始した。（よこはま）</p> <p>③ 団体向け「小動物ふれあいプログラム」を動物福祉に配慮し、動物を大切にすることを育む内容とするため、事前・事後学習のワークシート、事前動画を制作し、校外学習に活用いただけるよう改善した。（野毛山）</p> <p>④ 「ヒツジはかせになろう」「動物のたんじょう」の利用実績が少ないため廃止し、新たに小学 5 年国語に合わせた「固有種が教えてくれること」を開始した。（金沢）</p> <p>その他、引き続きコロナ対策のためオンライン等非接触でのプログラムを随時実施した。</p>

## (2) マーケティング戦略の展開

未来の世代に、より豊かな地球環境を残していけるように、動物園が持つ 4 つの役割を 3 動物園それぞれが持つ特徴に沿った形で果たし、多くの方々と一緒に野生動物とその生息環境を知り、考え、学び、そして行動することで自然と共生できる社会を作ることを目指すため、来園者増に向けた広報集客活動に取り組みました。

また、動物園への関心をより深めることで、動物園に支援をいただけるよう努めました。

### ① 令和 4 年度 3 園の入園者分析

園名	入園者分析
よこはま	「生命の共生・自然との調和」を感じられる動物園として広い地域に PR できるよう、SNS による情報発信を強化するとともに、相鉄・東急直通線（以下「ST 線」）開業を契機とした沿線（東京・神奈川県東部方面）からの集客など、広域からの誘客を図りました。
野毛山	誰もが気軽に訪れ、楽しめ、小さな子どもが動物にふれあい、命を感じられる動物園として PR できるよう、学校団体や地域商店街、また、横浜中心部の動物園として近隣施設との連携を図りながら、誘客を図りました。
金沢	従来の紙媒体による広報に加え、インフルエンサーマーケティングや Web 広告などを活用し、園の認知度を高め集客を図ります。また、昨今社会的に認知度が上がっているサステナビリティに鑑み、生物多様性や SDGs に紐づけた企画の実施や取組みに対する情報発信に努めました。

### ② 潜在的な来園者を想定した来園者増の取組

来園されたことのないお客様の来園を促すため、広報活動、民間事業者との連携活動を通じての認知度の向上を図りました（P. 19 参照）。

ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については、以下の通りでした。

種別	媒体	令和4年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS等 (P.15 参照)	目 標	・ポスター制作：5回 ・ホームページイベント特設サイト制作：1回
		実 績	・ポスター制作：5回（春1、夏2、秋1、冬1） ・ホームページイベント特設サイト制作：2回（よ1、金1）
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区広報紙、web (P.16 参照)	目 標	メディア掲載件数：1,000件
		実 績	470件 テレビ・ラジオ：120件（よ76件、野18件、金26件）、インターネット、新聞、雑誌、広報誌、フリーペーパー等：350件（よ174件、野75件、金101件） ※令和4年度より掲載件数の算出方法を1社掲載につき1件に変更した。（従前は、1社が複数掲載した場合は複数件としていた。）
広域 広報	SNSでのキャンペーン（P.16 参照）	目 標	3回
		実 績	4回（よ1、野1、金2）

イ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて多様な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。よこはま動物園では、市営地下鉄新横浜駅と相鉄・東急直通線（ST線）新駅をつなぐ動線上に新たに広告看板を掲出しました。金沢動物園では、開園40周年に合わせて地元商店街に記念フラッグの掲出を行いました。※金沢動物園開園40周年の取組については参考資料P.50を参照

【主な看板类等掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅（相鉄線）、鶴ヶ峰駅（相鉄線）、三ツ境駅（相鉄線）、中山駅（グリーンライン・JR）、日吉駅（グリーンライン）、あざみ野駅（ブルーライン）等。
野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山商店街、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園掲示板、野毛ちかみち掲示板、ぶらり野毛山BUS等でのポスター掲出。野毛山商店街連携でのデジタルサイネージ放映（野毛ちかみち）等。
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ（すずらん商店街）、大型看板（金沢文庫駅ホーム）、ホームベンチ看板（洋光台駅ホーム）、バナーフラッグ（ふれあい商店街）等。

(イ) 各種広報印刷物（ポスター、チラシ、リーフレット等）の制作、配布、掲出

よこはま動物園では、園内マップのデザインを更新し見やすくわかりやすい紙面と持ち運びしやすいサイズに改善しました。また、印刷物はFSC認証紙の使用など環境に配慮しました。※実績については参考資料P.50～P.51を参照

(ウ) 有料広告の出稿

イベント情報や施設情報について、効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。引き続き横浜市営バス（ぶらり野毛山BUS）への3動物園のポスター掲出を季節ごとに行うとともに、新たに、地下鉄新横浜駅大型モニターへのよこはま夜の動物園PR、金沢動物園では新たにインスタグラムのインフルエンサーを活用したPR施策を実施し、「いいね」、「コメント」「保存」「リーチ」「再生回数」の増加、及びコメントによりオウソメディアだけでは捉えられなかった潜在顧客への認知拡大を図ることができました。また、インフルエンサーがどのような投稿を行っているのか、どのような投稿がよく見られるのかといった、投稿内容・方法を見直す機会となりました。

【有料広告出稿実績】

園名	媒体名	内容
3園	横浜市営バス	季節のイベント情報
	地下鉄新横浜駅大型モニター	よこはま夜の動物園PR
金沢	インスタグラムインフルエンサー	秋のイベントPR

(エ) ホームページ、SNSの活用

ホームページやブログでは、積極的に最新情報を発信し、動物園の理解促進につなげました。

【ホームページアクセス件数】

園名	令和4年度	前年度比
3園合計	3,735,259件	-575,878件

【ブログでの情報発信・閲覧件数】

		令和4年度	前年度比
3園合計	発信件数	1,196件	-138件
	閲覧件数	2,685,436件	-376,902件

このほか、SNS（Facebook、Twitter、Instagram）、動画共有サイトを利用し（YouTube）、イベント情報や飼育動物についての情報等をタイムリーに発信し、新たなフォロワー（ファン）の獲得、情報の拡散につなげました。また、Twitterを活用したキャンペーンを実施し、来園促進につなげました。

【Twitter実績】

		令和4年度	前年度比
3園合計	新規フォロワー数	24,630	-7,026
	エンゲージメント数（いいね、RT）	2,261,397	+18,853

**【Twitter キャンペーン実績】**

園名	概要
よこはま	「ズーラシアドリーム」を実施し、ズーラシアでかなえたい願い事を公式 Twitter で募集する企画を実施し、168 通の応募があり、その中から「園内バスの車掌になってみたい！」など3つの願いをかなえました。また、総リツイート数 495 件と多くの方が関心を寄せました。
野毛山	国際シマウマの日に合わせて SNS に投稿。今回は野毛山動物園だけの内容ではなく、グレビーシマウマ「ココロ」・「ラッキー」のふるさと、いしかわ動物園、盛岡市動物公園と提携した企画とし、他都道府県在住者へのアピールにつながりました。
金沢	6月世界キリンの日、9月世界サイの日になみ、市内・国内のキリン・サイ飼育園館と連携した企画を実施しました。市内外・他都道府県在住者へのアピールにつながりました。

ウ 間接広報

(ア) プレスリリースを中心とした積極的なパブリシティ活動

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。

**【プレスリリース件数】**

	記者発表件数 (前年度比)	メディア掲載件数 (前年度比)
3園合計	62 件 (-33 件)	470 件 (- 440 件) ※

※令和4年度より掲載件数の算出方法を1社掲載につき1件に変更したため、メディア掲載件数が大幅に減少した。

<反響の大きかった記事>

園名	概要
よこはま	令和4年7月に誕生したレッサーパンダの赤ちゃんや、12月に天王寺動物園から来園したホッキョクグマがテレビや雑誌等で大きく取り上げられました。
野毛山	令和4年10月、11月に誕生したグレビーシマウマ・チンパンジーについての取材・お問い合わせを多くいただきました。
金沢	動物の誕生（スーチョワンバーラル、コアラ）に対する反応が複数のメディアに取り上げられました。また、ヤマユリ、紅葉など植物情報に対しても反応が良好でした。

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、3園ともに、「広報よこはま」やタウン紙への情報提供を継続的に行いました。

**【行政広報紙への掲載実績】**

園名	概要
よこはま	広報よこはま旭区、緑区、瀬谷区、都筑区、泉区、戸塚区、神奈川区版にて情報を毎月掲載しました。

野毛山	なかよし広場での小動物ふれあいを再開するにあたって、広報よこはま全市版に情報を掲載しました。
金沢	広報よこはま金沢区、戸塚区版へ情報掲載しました。タウンニュースからは取材件数も多く、頻繁に掲載されました。

## エ 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に協力することで動物園の PR を積極的に行い、来園促進に取り組みました。

### 【主な園外 PR・地域連携活動実績】

#### (ア) よこはま

実施日	連携先	取組概要・実績
(3月26日)～5月8日、9月17日～10月16日、3月25日～(5月7日)	里山ガーデンフェスタ	パネル展や入園料の割引により、来園促進につなげました。 里山からの割引利用来園者：R 4春 650名、秋：1,321名、R 5春 2,566名
9月17日～10月16日	横浜四季の森フォレオ	園内で実施している企画(村田園長が園内で撮影した写真について紹介するパネル展)に連動して写真展と園の紹介をするパネル展を実施しました。
8月1日～1月31日	ららぽーと横浜 ららぽーと海老名	当日入園券をご提示いただくと、ららぽーと横浜・ららぽーと海老名、限定で使用できるお買い物・お食事券 500円分をプレゼントしました。(2店舗合計 601名にプレゼント)
10月～11月	旭区、緑区、港北区	区民祭りで園外 PR を実施しました。

#### (イ) 野毛山

実施日	連携先	取組概要
8月1日～8月21日	横浜中央図書館	国内で野毛山動物園でのみ飼育・展示している動物を紹介し、子どもから大人まで幅広い世代を対象に、貴重な動物とそれを飼育する動物園への興味・関心を喚起しました。
7月21日～8月31日	神奈川県立歴史博物館 含む近隣博物館	「WEBで開催！ミュージアムミッション 2022」を実施し、アクセス件数が 4,003 件ありました。
10月4日～1月29日	横浜市社会福祉協議会	共同募金 PR 大使に就任したオグロワラビーのバッジを寄付者に配布(約 450 件)することにより、募金と来園促進につなげました。

## (ウ) 金沢

実施日	連携先	取組概要
通年 (ポスターは季節ごとに適宜交換)	ビアレ横浜	ビアレ横浜の渡り廊下に動物写真や季節のポスターを掲出し、園のPRにつなげました。
8月土日祝	学校法人トキワ松学園 横浜美術大学	包括締結協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生が製作した竹灯籠をナイト金沢 ZOOにて展示しました。
10月15日	金沢区	金沢区民まつり いきいきフェスタ、金沢区どんど焼きにブース出展しました。どんど焼きには金沢自然公園で間伐した竹を活用しました。
12月17日	金沢区音楽振興事業	「ハマの JACK」室内楽コンサートにて、職員によるステージ上でのナレーションとマスコットキャラクター「ゆーかりん」の登場により参加協力しました。

## オ 団体利用者等の誘致活動

学校団体の誘致や前売券契約、福利厚生団体等との契約を行い、来園促進を図りました。

## 【学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま	団体数	393	456	42	66	957
	人数	22,828	45,058	2,862	2,354	73,102
野毛山	団体数	210	175	4	5	394
	人数	13,168	15,360	100	175	28,803
金沢	団体数	169	149	9	10	337
	人数	10,016	14,357	722	140	25,235
計	団体数	741	772	52	78	1,643
	人数	44,785	74,575	3,578	2,582	125,520

## 【前売券入園数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま (人)	金沢 (人)
コンビニ等	なし	通年	30,299	1,309
ホテル等	1割引		481	—
協賛企業向け	2割引		2,792	—
計			33,572	1,309

【よこはま動物園、金沢動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社(読売)	特殊契約	通年	1,272
福利厚生	2割引		15,248
提携企業会員カード	2割引		78,529
計			95,049

カ 民間事業者との連携

(ア) KDDI(株)との連携(よこはま・継続)

スマートフォン向けアプリ「one zoo」のサービス終了に伴い、新たに「one zoo 公式YouTubeチャンネル」及び「au 5Gチャンネル」の映像提供サービスにて動物園のPRを図りました。

(イ) クラシェフーズ(株)(よこはま・新規)

子供向けのソフトキャンディー「あしあとみつけ!」とタイアップしました。動物の足あとをフックにオカピの動画を特典として提供しました。Instagramにて商品購入者のプレゼントとしてズーラシア・金沢動物園の招待券にしたところ、キャンペーン投稿61.2万名、プレゼント応募総数が1,850名となり、新たな顧客向けにPRすることができました。

(ウ) ららぽーと横浜、ららぽーと海老名(よこはま・継続)

よこはま動物園の当日入園券を提示すると、ららぽーと横浜、海老名限定お買物・お食事券500円分をプレゼントする企画を実施し、ららぽーと横浜では583名、ららぽーと海老名では18名の参加者数でした。

(エ) タカラトミー(株)(金沢・新規)

金沢動物園開園40周年を記念し、動物フィギュア「アニア」を協賛いただき、来園者に向けたプレゼント企画を実施し、参加者320名でした。

(オ) 京急百貨店(株)(金沢・新規)

新しい学びの場×あそび場×集い場「COTONOWA」にて実施している大人向けの連続講座に金沢動物園開園40周年を記念し、園長講座として参加しました。

また、店内でパネル展示も実施しました。

(カ) 学校法人トキワ松学園 横浜美術大学(金沢・継続)

包括連携協定を締結している横浜美術大学のプロダクトデザインコースの学生が製作した竹灯籠を金沢動物園のナイト金沢ZOOにて展示しました。(再掲)

③ 動物園により深くかかわる利用者を増やす取組

動物園が果たすべき役割(種の保存、調査研究、環境教育、レクリエーション)を多くの方々に知っていただき、ご支援・ご協力いただけるよう取り組みました。

※寄付を活用した施設改修等の実績は、参考資料P.51参照

ア 潜在的寄付者を増やす取組

動物園の活動を多くの方々に知ってもらうため、SNSでの情報発信、キャンペーン等の実施によりフォロワー数等を増やしました。また、よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポートのデザインを新しくするとともに、金沢動物園開園40周年を記念した限定パスポートを2種類販売するなどリピーターの拡大に努めました。

【年間パスポート発行実績】

園名	発行枚数	前年度比
よこはま	19,207	+1,695
金沢	3,195	-420
計	22,402	+1,275

イ 新規の寄付者を増やす取組

保全意識向上を図るプログラムの実施や、横浜市動物園友の会の運営、ボランティア活動支援(P.29)を行うことで、動物園への理解者を増やしました。

また、野毛山動物園では、園の管理運営の向上に活用するため、園内に募金箱を設置して来園者から6,465,186円(前年度70.8%)の寄付をいただきました。いただいた寄付は、ひだまり広場の休憩スペース用テーブル購入に活用しました。

【横浜市動物園友の会 会員件数】

会員種別	会員件数	
	令和4年度	前年度比
家族会員	145	+2
大人会員	258	+46
小人会員	7	+2
賛助会員	3	+1
計	413	+51

ウ リポートしてくれる寄付者を増やす取組

アニマルペアレント(動物の飼育環境改善に対する寄付)を募りました。令和3年度より各動物園ホームページからクレジットカードで寄付できるようにしたこともあり、前年度より大幅に寄付金額をアップすることができました。会員の方向けには、ニュースレターの送付、動物園についての理解を深めるための感謝の日を実施しました。

【アニマルペアレント寄付実績】

園名	金額(前年度比)
よこはま	3,520,000円(113.1%)
野毛山	2,150,000円(109.4%)
金沢	1,650,000円(109.2%)
計	7,320,000円(111.1%)

**【アニマルペアレント感謝の日開催実績】**

園名	実施日	内容	参加人数
よこはま	9月23日	村田園長による園内ガイドツアーを実施。	17名
	3月5日	スライドショーとバックヤードツアーを実施。	38名
野毛山	10月9日	開園準備中の動物園ガイドツアーを実施。	20名
	2月18日	今年度生まれた動物の赤ちゃんについて解説。	18名
金沢	10月16日	オセアニア区ガイドツアーを実施。	10名
	2月25日	アニマルペアレントの寄付金の活用実績についてインドゾウなど事例紹介。	19名

※コロナ対策のため、令和4年度は少人数での開催とした。

**【アニマルペアレント寄付 主な活用事例】**

園名	実施内容	効果
よこはま	アカハナグマ展示場止まり木・小屋更新	老朽化した止まり木を交換し、暖房付きの小屋を更新することで動物本来の行動を引き出すことができました。
野毛山	飼育動物で使用する環境エンリッチメント用具及びクリスマスやお正月のイベントで使用する特別な餌の購入	高齢個体を含む飼育個体の動物福祉を考慮し適切な管理につなげました。
金沢	インドゾウ展示場での体掻き用の丸太設置、ニホンカモシカ飼料箱修繕	行動のバリエーション増加や給餌器具の改善、動物の福祉向上につなげました。

エ 企業からの支援を増やす取組

環境教育活動や広報・プロモーション活動などを支援いただく企業、団体を増やすため、営業活動を行い、(株)伊藤園が新たに協賛企業となりました。令和4年度は、8社より総額3,348万円の協賛金をいただくことができました。また、よこはま動物園には三井住友トラスト不動産(株)より教育普及用としてトラのオブジェの寄贈を受けました。

**【令和4年度企業協賛実績】**

園名	協賛会社名
よこはま	① ウエインズグループ
	② 三井住友海上あいおい生命(株)
	③ コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
	④ サントリーフーズ(株)
	⑤ (株)伊藤園
	⑥ 高梨乳業(株)
	⑦ ジブラルタ生命保険(株)
	⑧ 博報堂(株)
野毛山	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

オ 大口寄付者（遺贈を含む）を増やす取組

寄付者の方々との関係性を深められるよう、丁寧なコミュニケーションを図り、個人の方々より3園で約2,000万円の寄付をいただきました。よこはま動物園ではモウコノウマの新規導入に向け展示場を改修したほか、野毛山動物園ではペンギン展示場の日よけ設置、金沢動物園ではオオカンガルー展示場の日よけ設置などに活用しました。

④ 利用者に関りを深めてもらう取組

利用者アンケートや広聴制度の運用を通じ、利用者の分析やニーズの把握を行い、部署間・関係事業者等との定例会議において情報共有・検討を行うことにより管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。また、職員のスキル向上のため、引き続きマーケティング研修を実施しました。

ア 利用者調査アンケート

3園において、11月9日～29日に二次元バーコードを使用した利用者調査アンケートを実施し、引き続き満足度の高い結果を得られることができました。

**【利用者調査アンケート結果による全体的な満足度】**

園名	回答数	全体的な満足度について「とても満足」「やや満足」と回答された割合（前年度比）
よこはま	613件	97.2%（98.1%）
野毛山	496件	98.4%（97.5%）
金沢	378件	96.0%（97.9%）

イ 来園していない方へのアンケート（新規）

令和5年2月にウェブサイト上で過去1年間に3動物園に来園したことがない、横浜への日帰り可能な神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県在住、対象年齢を限定したアンケート調査を実施しました。

1,262件の回答のうち、過去1年間に3動物園に行かなかった理由では、「遠い・移動時間がかかる」、「動物園に興味が無い」の割合が多くを占めました。また、よこはま動物園の知名度は、市内・県内を中心に3園で、最も高かったものの、県外と知名度に差が見られました。野毛山動物園は、横浜市内の6割が過去に来園したことがあり、よこはま動物園を上回りました。金沢動物園は、市内・県内外を含め3園で最も知名度が低いことがわかりました。この調査により、市外・県外へ繋がる路線の駅構内や電車内広告を積極的に掲出するなど効果的なポスターの掲示場所などを見直す機会となりました。これを踏まえ、来年度は、市外・県外のなかでも動物園へ直通している電車内にてイベントポスターを掲出するよう検討していきます。

ウ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

広聴は1年間でよこはま動物園では39件、野毛山動物園では6件、金沢動物園では7件、3動物園に対し6件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。

【広聴件数（ホームページ等による要望等）】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ ご要望	質問・ 問合せ	お礼・ 励まし	その他
よこはま	39	2	34	0	3	0
野毛山	6	0	6	0	0	0
金沢	7	0	6	0	1	0
3 動物園	6	0	6	0	0	0
計	58	2	52	0	4	0

【お礼ご意見の一例】

園名	内容
よこはま	娘が馬に乗る際に怖がってしまい諦めて帰ろうと思っておりましたが、お姉さん達が後で乗ろうと言ってくれて一緒にお話をしてくれて嬉しかったです。その後にもう一度機会を与えて頂きなんとか乗ることが出来て本当に感謝しています。
野毛山	先日ラージャーの誕生日会に参加いたしました。大好きな飼育係員さんのそばで、猫のようにお腹を見せて転がっていて、本当にかわいらしいと思いました。飼育員さんのお話も毎回とても興味深いお話で、とても勉強になります。これからも、ラージャーが快適に過ごせるよう、願うばかりです。楽しい誕生日会ありがとうございました。
金沢	保育園の遠足中に雨に降られた際、職員がブルーシートで「屋根」を作り、園児は濡れずに帰ることができました。また、帰宅後こどもが喜んでおり、金沢動物園のYouTubeを真剣に見ていました。

エ モニタリングによる自己評価とその改善

年2回横浜市職員によるモニタリングを行い、各園及び協会本部で仕様書に定められたことの進捗を自己評価するとともに、意見交換を行うことで業務改善につなげています。

(ア) 来園者サービス

よこはま動物園では、ベビーカー・車イスのレンタルコーナーにキャッシュレス決済を導入した他、園内バスを1台増やすことで来園者の利便性向上に努めました。金沢動物園では新たに授乳室を設置しました。また、3園をめぐるシールラリーを実施し、3園に楽しみながら足を運んでいただくようにしました。

(イ) 動物飼育管理

3園共に老齢個体の飼育や繁殖に積極的に取り組みました。環境エンリッチメントやハズバンドアリートレーニングでは、計画・評価シートの改善を行い実施している。クラウドファンディングやアニマルペアレント等の寄付金も使用しながら展示場の修繕等を適宜行い、環境改善にも努めました。3園の獣医も情報交換を行い、論文等で知見を広げることによって難易度の高い治療を成功させることができました。

(ウ) 教育普及

例年実施している国際〇〇の日を今年度は、よこはま3園で共通している動物種においては、同日にイベントを企画しSNS等を通じて連携を図りました(キリン、オカピ、クロサイ等)。また、生息地で活動している外部団体との連携も行い、生息環境や現状の情報共有を通じて環境教育に取組み、物販などの収益は、生息域内での保全活動をしている団体へ寄附しました(レッサーパンダやゾウ等)。

現行の教育普及プログラムやイベントを適宜見直し改善に取組みました。また、アンケートにより効果測定等調査しました。

(エ) 人材育成

協会内で人材育成ビジョンを改定し、研修やOJTなどを通じて人材育成に努めました。

(オ) 広報

金沢動物園では、インフルエンサーを活用した新たな実験的広報を実施しました。その他、各媒体や掲出先に効果的に広報を行いました。

オ 各種会議での情報共有

警備、案内、飲食物販等お客様と接する機会の多い委託業者との定例打合せを通じ、課題改善、円滑な管理運営に努めました。

【課題改善の例】

園名	内容
よこはま	「世界オカピの日」に先駆けて飼育員監修の元、動物の姿をできる限り忠実に再現したぬいぐるみを発売した。商品の売上の一部は、オカピの保護団体「OKAPI CONSERVATION PROJECT」に寄付することとし、商品購入によって保全事業に参画できる仕組みとしました。
野毛山	「ライオンの誕生日」や「世界キリンの日」等に合わせ商品展開をし、SNSやガイドで紹介しました。リピーターを飽きさせないよう定番メニューに季節限定の盛付に変えるなど工夫を行いました。
金沢	園公式 SNS への投稿や動物園内での POP 掲出による商品 PR を行った。「世界ゾウの日」などの園内イベントにて売上の一部が保全団体へ寄付される商品の販売を行うなど、園が行う普及啓発活動と連動した商品販売に取り組みました。

カ お客様からの意見、要望も取り入れた来園者サービス向上への取組

園名	サービス向上への取組	効果
3園	展示動物種の変更等に対応するため、ガイドブックの内容を4年ぶりに改定	表紙のデザインも変更することで、お客様へ分かりやすく改定版であることを伝えることができました。
よこはま	ラッピング園内バス1台の追加導入	園内バスの混雑が緩和し利便性が向上するとともに、ラッピングにより楽しく乗車することへの期待感を創出しました。

野毛山	ベビーカーの更新	急峻で狭い園路でも取り回しがし易くなりました。
金沢	授乳スペースの要望を受け、授乳ブースを新規設置	アメリカ休憩所にしか授乳スペースがなかったが、オセアニア休憩所にも設置し、利便性が向上しました。

### (3) 動物園マネジメントの取組

#### ① 地球環境保全等に寄与する SDGs の取組

当団体では令和3年4月に「SDGs 達成に向けた取組 2021-2030」を策定し、12月には、横浜市の SDGs 認証制度” Y-SDGs” において、「上位=Superior」認証を取得しました。令和4年11月には、その後の取り組み実績により、「最上位=Supreme」認証にランクアップしました。経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上をめざした SDGs の取組は以下とおりです。

#### ア 環境分野

取組	主な取組
生物多様性保全への貢献	動物の飼育管理 P. 32～44 参照
環境負荷の低減に向けた取組	動物糞有効活用事業、コーヒー滓（かす）の再利用 P. 34 参照

#### イ 社会分野

取組	主な取組
多様な教育普及	学校教育の取組 P. 30～31、保全意識向上を図るプログラム P. 38～41 参照
市民参加と市民協働による地域の活性化	園外 PR・地域連携活動 P. 17～18、ボランティア活動 P. 29～30 参照
誰も安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営	防災訓練・動物逃亡捕獲訓練 P. 11、施設等の維持管理 P. 44～46 参照

#### ウ 経済分野

取組	主な取組
地域事業者との連携による地域経済の活性化	飼料の市内業者等からの調達など P. 32 参照

#### エ ガバナンス

取組	主な取組
多様な主体とのパートナーシップによる事業推進	民間事業者との連携 P. 19、ボランティア活動 P. 29～30 参照

② 自主事業や経営改善等の取組

ア 季節ごとに3動物園を楽しめる主な取組

イベント名	概要	実施日	参加人数
よこはま夜の動物園	園内をライトアップして夜間開園し、関連イベントを実施。	8月土日祝 ※8月13日は荒天のため中止	よ：55,265名 野：14,464名 金：10,363名
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもたちとその家族を夜の動物園へ招待。	9月3日	よ：1,603名 野：127名 金：465名
3園シールラリー	閑散期対策（夏、冬）として、3園を巡り、動物園の役割を知っていただくシールラリーを実施。	6月18日～7月31日、1月7日～2月26日	夏：7,000名 冬：4,000名
動物感謝祭	3園で死亡した動物の慰霊碑がある野毛山動物園で、3園の動物の誕生、長寿、死亡に関するパネル展等を実施。	9月1日～10月16日	—
動物画コンクール	3園で展示している動物を題材にした絵画の募集と展示。	募集：9月1日～9月30日 3園巡回展示：10月～12月	235名
クリスマスイベント	クリスマスの雰囲気を楽しめるよう、クリスマス装飾や関連イベントを実施。	11月23日～12月25日	—
オリジナルポスターカレンダープレゼント	3園で異なる絵柄のものを先着100名プレゼント。3枚並べると1つの絵になる。	12月3日～25日の土日祝、1月2日、3日	3,000名
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。	12月1日～1月9日	—

イ 各動物園の特徴、地域特性を生かした主な取組

(ア) よこはま

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシアガーデンパーティー	テーマに合わせた園内装飾と飲食ブースを設置したガーデンパーティーを実施。	(3月26日)～4月3日	—
村田園長とっておき写真展	園長が撮影した動物の写真展と園長によるギャラリートークを実施。	8月31日～11月28日、ギャラリートーク11月20日、撮影会11月25日	ギャラリートーク参加者46名、撮影会参加者17名
害虫展 season 3	害虫と呼ばれる生き物達の生物・命の美しさ、有益な側面に焦点を当て制作された作品の展示を開催。	9月14日～21日	—

ズーラシアフェス！ ～とりのとりこ～	ズーラシアで飼育している鳥類をテーマに、楽しく学べるイベントや関連雑貨の販売・コウノトリに関する講演会を実施。	10月1日～10月30日 土日祝 全11回 講演会：10月30日	講演会参加者：32名
ズーラシア駅伝	旭区駅伝競走大会実行委員会と共催で園内にて駅伝大会を実施。	1月28日	1,704名

(イ) 野毛山

イベント名	概要	実施日	参加人数
オリジナル鯉のぼり展示	レッサーパンダ、ペンギン等の鯉のぼりを入園口に掲出。	4月19日～5月8日	—
集まれ！どんぐりひろい隊	ボランティアの方々に拾っていただいたどんぐりをツキノワグマに給餌しながらのガイドを実施。	10月2日、16日	300名
西区スタンプラリー	西区の保健活動推進委員会を中心に動物をテーマにしたスタンプラリーをしながら、ウォーキングする企画。	10月3日	255名
【改善】ツキノワグマ誕生日会	ツキノワグマの「サンペイ」と「コマチ」の誕生日会をSDGsと絡めた企画として実施。事前メッセージを募集し、そのメッセージをパネルで展示。	メッセージ募集：11月1日～18日、誕生日会12月11日	誕生日会：90名
動物たちのお食事大公開	普段ご覧いただけない動物たちのエサを紹介し、展示場前にて動物ガイドを実施。	11月6日、13日、20日	8,134名
なかくっ子ウォーク in 野毛山動物園	野毛山動物園をテーマにしたクイズを解きながら、ウォーキングし時間内にゴールを目指す。	1月29日	155名
インドライオン誕生日会	インドライオンの「ラージャー」の誕生日会を特別な餌の給餌と共に飼育員によるガイド実施。	2月11日	300名

## (ウ) 金沢

イベント名	概要	実施日	参加人数
写真で振り返る金沢動物園展	金沢動物園の動物展示の変遷について紹介する写真展。	(1月2日)～5月31日	—
開園40周年記念 「写真で紡ぐ、思い出の中の金沢動物園」	来園者の方が、金沢動物園で撮影した写真やエピソードを募集し、写真展を開催。応募者数名に対するインタビュー映像を作成、YouTube等で配信。	(3月19日)～5月31日	—
開園40周年記念 「金沢動物園 今昔パネル展」	園内の各展示場前で、金沢動物園の今とこれまでをパネルで展示。	(3月19日)～12月28日	—
【新規】開園40周年記念 アニア×金沢動物園コラボイベント	(株)タカラトミーと連携し、来園者に動物フィギュア「アニア」をプレゼントするイベントを実施。併せて、金沢動物園の紙製ジオラマを作成し、アニアを展示。	4月2日、3日、9日、10日	320名
【新規】開園40周年記念 京急百貨店 KOTONOWA 特別企画 「さあ～動物園へ行く！～楽しみ方はあなた次第～」	京急百貨店 KOTONOWA と連携した、大人向け動物園講座を実施。京急百貨店での講演1日と園内見学1日の事前申込制の連続講座で、講師は園長が務めた。	座学：5月20日、園内見学：6月3日	15名
もぐもぐご飯展	動物のエサや歯の形を紹介	6月1日～7月31日	—
【新規】開園40周年記念 クラウドファンディング「インドゾウの自動給水装置」除幕式	開園40周年を記念して実施したクラウドファンディングで作製した「インドゾウの自動給水装置」の除幕式を開催。	8月27日	205名
ご長寿動物写真展	シルバーウィークに併せて長寿動物を写真で紹介。	9月1日～30日	—
みぢかな森と生きものの暮らす森展	森の循環と、近隣の森で起きているナラ枯れの状況の紹介。	9月3日～11月13日	—
【新規】40周年記念 京急キッズチャレンジ「キリン飼育員のお仕事体験！」	(株)京急アドエンタープライズと連携し、小学4～6年生を対象としたキリン飼育員のお仕事体験を実施(事前申込制)。	12月3日	20名
パネル展「動物園の野良しごと」	園内で実施している環境保全活動の紹介。	2月11日～26日	—

## ウ ふれあい体験

各動物園で、コロナの感染状況、動物福祉に配慮しながらふれあい体験を実施しました。

園名	場所	プログラム	実施内容
よこはま	ぱかぱか 広場	ひき馬体験	スタッフが引く馬に乗る体験を実施しました。(コロナ対策のため、4/1～6/17まで中止)
		自然体験林でひき馬体験	自然体験林をスタッフが引く馬に乗って散策する体験を実施しました。(コロナ対策のため、4/1～7/22まで中止、施設整備のため、1/11～3/17まで中止)
		馬の飼育員になってみよう	馬房の清掃やブラシがけ等の飼育体験を実施しました。(コロナ対策のため、夏季は中止)
		えさやり体験	馬に餌をあげる体験を非接触の方法で実施しました。(有料)(コロナ対策のため、4/1～5/8まで中止)
		モルモット・ネズミのおうち	7月4日より動物福祉と新しい生活様式に配慮し、事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定した内容に見直しを行い、ふれあいを再開しました。
	サバンナ	ラクダライド	スタッフが引くラクダに乗る体験を実施しました。(コロナ対策のため、4/1～6/19まで中止。また、令和5年3/26に実施終了)
		ピグミーゴートとのふれあい	コロナのため、展示のみ実施しました。(令和5年3/26に実施終了)
野毛山	なかよし 広場	モルモット、ハツカネズミ等とのふれあい	7月22日より動物福祉と新しい生活様式に配慮し、事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定した内容に見直しを行い、ふれあいを再開しました。
金沢	ほのぼの 広場	ヤギさんのおやつタイム	ヤギとヒツジの餌やり体験を動物と非接触の方法の両方で実施しました。

## エ ボランティア活動

コロナの感染状況に配慮しながら、活動への協力を実施しました。

(活動人数：よこはま2団体28人、野毛山2団体13人、金沢5団体107人)

園名	主な取組
よこはま	動物の展示場前での解説、工作や紙芝居等のワークショップを実施。動物ガイドボランティアの活動は、コロナ禍で長期間ガイドを中止していましたが、6月より再開しました。
野毛山	コロナ禍でのガイド中止に伴い休止していた動物ガイドボランティアを6月より再開。通常ガイドのほか、ナイトのげやま・ドリームナイト・アット・ザ・ズーでのガイド、国際レッサーパンダデーでのアンケート調査の実施や動物たちのSOS展ブースに参加しました。
金沢	コロナ拡大防止のため4月～9月まで活動休止していたが、オカピクイズ、バククイズ、カピバラのエプロンシアターの3つの企画を隔週日曜日に実施しました（帝京科学大学動物園研究部）。また、ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいて、プロジェクターで動物の写真を映し出した写真スポットを作成しました（日大くらしの生物学科）。植物区エリアでの樹林地・竹林等の管理補助を実施しました（かなざわ森沢山の会）。

#### オ 経営改善の取組

事業資金の調達では、アニマルペアレント等による外部資金の獲得に取り組みました。（P. 20 参照）また、横浜市健康福祉局による認証制度「横浜健康経営認証」の取得団体として、健康講習会の実施など職員の健康保持・増進に積極的に取り組みました。（P. 10 参照）

#### （4）学校教育プログラム

よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。コロナ対応として、引き続きオンラインでの対応やDVDの貸出しも継続しました。※それぞれのプログラムの実績については、参考資料 P. 53～55 参照

##### ① 学校教育向けプログラム（3園）

###### ア 来園プログラム

20種のプログラムを実施し、3園で15,673名（前年度比+5,168名）の参加がありました。

##### 【主な来園プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	キャリア教育の「ズーラシアの飼育員」「動物福祉の取組」を新たに実施しました。	テーマを絞ったプログラムとしたことで、より充実したキャリアプログラムを提供することができました。
野毛山	「どうぶつ園のじゅうい」で使用するパネルを見やすく改良。雨天時でも屋根のある場所で実施し柔軟に対応しました。	プログラムが中止の時は遠足中止を予定していた団体が、雨が降ったりやんだり不安定な天気でも来園することができました。
金沢	小学5年国語に合わせた「固有種が教えてくれること」を新たに定例プログラム（団体特別メニュー）として追加しました。	教科書の内容の具体例を挙げることができ、固有種についての理解を深めることができました。また、小学校高学年の学習利用を今後増加させるツールとして期待できます。

## イ 出張プログラム

5種のプログラムを実施し、3園で9,722名（前年度比+928名）の参加がありました。

### 【主な出張プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	基本対応は対面としましたが、学校の希望により、オンラインにも臨機応変に対応しました。	来園を希望する学校が大半を占める中、オンライン対応も可能としたことで、より多くの学習機会を設けることができました。
野毛山	飼育員の1日で飼育員の動物へのエサの準備、給餌等をPowerPointで紹介する際、動画を追加導入しました。	児童生徒の反応が良く、飼育員の仕事内容の多様さや大変さが良く分かったという感想もありました。
金沢	教科書の著者である職員が出演するDVD「どうぶつ園のじゅうい」の貸出とオンラインでの授業を継続するとともに、対面授業（出張授業）をコロナ禍以前と同等の回数で実施しました。	DVD貸出とオンライン授業を継続することで、遠方（海外）の学校との学習を継続することができました。また、市内の学校では対面実施を希望する声が増加してきたことから、それに応じてコロナ禍以前の水準で出張授業を実施することができました。

## ② 先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム

学校等と連携し、3園で4,100名（前年度比+1,673名）の参加がありました。

### 【主な連携授業への効果】

園名	実施内容	効果
よこはま	動物たちの食べるものについて学校で学んだあと、動物園で動物たちの食べるものや食べ方を観察するプログラムを実施しました。	冬休みに身近な野生動物が食べるものを探してもらう課題を出しておいたことで、動物園の動物たちがどんなものをどのように食べるかにポイントを絞って考えることができました。
野毛山	近隣の小学校と連携し野毛山動物園の動物、動物園の仕事を伝える図鑑を制作した。制作物の展示を動物園で行いました。	制作した図鑑が図書館や地域施設に展示された。振り返りシートから児童が苦手だと思っていた動物を好きになったこと、動物園の仕事について知ったことや図鑑を読む人に正確な情報が伝わるように努力したことで達成感を持ったことがわかりました。
金沢	高校理科「ベーシック理科」に連携して、野生動物と家畜について学ぶ連携授業を新規に実施しました。	高校理科の学習に連携し、野生動物と家畜の特徴を深く学習できた。ヒツジの毛を使用したクラフト体験等も取り入れ、体感的な学びを提供できました。

## ③ 小動物ふれあいプログラム（野毛山）

9月より団体ふれあいプログラムを3年半ぶりに再開しました。動物福祉に配し、1回の団体受け入れ人数を縮小し、動物の負担を軽減しつつ、児童が観察をしっかりとできるよう改良し、以前と比較し動物の落下事故が減少しました。教員からも児童が落ち着いてふれあいに集中できていたとの感想が聞かれました。

#### 4 動物の飼育管理

##### (1) 飼育現場での取組

世界の野生動物の現状への理解を深めてもらえるよう、動物の生態や健康維持、動物福祉（アニマルウェルフェア）に配慮した飼育管理に取り組むほか、飼育動物の記録や飼料の調達、給餌等を行いました。飼料となる青草、ユーカリなどの栽培・生産については、市内生産農家等に依頼し、安定的な供給の確保を図るとともに、地域の活性化に取り組みました。

##### ① 動物福祉（生活の質）向上のための取組

3園で飼育する動物に対して、科学的な根拠に基づき、3園における良好な動物福祉を高める取組を推進しました。また、動物福祉への職員の理解を深めるため、Wild Welfare が主催するオンラインセミナーを動物職員全員が受講しました。

##### ア エンリッチメントの取組

飼育動物の多様な行動を引き出す飼育環境改善（エンリッチメント）の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、良好な動物福祉を高めていきました。

##### 【主なエンリッチメントの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	シシオザルの寝室におが粉を敷設しました。	探索行動が発現するとともに、寒冷対策にもつながりました。
野毛山	キリン・チンパンジー・ツキノワグマ展示場及び寝室へ、フィーダーや消防ホースとハンモック等を設置しました。	展示場や寝室が狭いながらも空間利用できる範囲が拡充した事に伴い行動範囲及び量が増えたと共に本来の行動を誘引することが出来ました。
金沢	インドゾウ舎での夜間給餌用ベルトコンベアーの増設及び展示場への投擲式自動給餌器の設置を行いました。	夜間給餌用ベルトコンベアーにより、夜間の採食時間が増加しました。投擲式給餌器については本格的な運用にむけて調整中です。

##### イ ハズバンダリートレーニング（受診動作訓練）の取組

無麻酔での採血等、動物福祉に配慮した健康管理（ハズバンダリートレーニング）の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、良好な動物福祉を高めていきました。

##### 【主なトレーニングの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	ライオンに対し、無麻酔で爪切りができるようにトレーニングを行いました。	巻き爪の状況にあった爪を切除し対処することができました。
野毛山	チンパンジーのケアを向上させるためのトレーニングを実施しました。	雌のトレーニングを開始し、「体の各部位を檻越しに寄せる、または檻から出す」という反応形成を目標に取り組み、手・口開け・頭の3項目を習得することが出来ました。また、別個体3頭で

		は、赤外線体温計による日々の検温が可能となりました。
金沢	ベアードバクの採血及び治療のためのトレーニングを実施しました。	ストレスが少ない状況下で採血、治療が行えるようになりました。

#### ウ 老齢個体に配慮した飼育管理の取組

老齢個体の飼育管理については、動物のQOL（Quality of life：生活の質、その動物種らしく、肉体的・精神的・社会的な日常生活を含めたものの充実度や満足感）の向上を第一に考え取り組みました。

##### 【主な老齢個体に配慮した取組】

園名	取組概要
よこはま	高齢のウンピョウに対し、展示場内での移動を容易にすることを目的に、止まり木の改良、擬木化等を行いました。
野毛山	オオコノハズクの両目白濁も目立ち、広い展示場では餌の置き場さえわからないほど老齢化が進んだため、展示を見合わせ動物病院での介護飼育に切り替えました。
金沢	足腰が衰えたヒツジにグルコサミンを投与し、歩様改善の取組を行いました。

#### ② 飼育現場での努力や意識向上に資する取組

##### ア 動物舎の維持管理

動物舎及び展示場の管理は、日常的に施設の安全点検を行い、小破修繕を適宜実施しました。また、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理し、市に報告することで大規模修繕計画にも反映させました。

##### 【主な展示の魅力向上】

園名	概要	効果
よこはま	工事中のホッキョクグマ等の展示	工事中のなか、新規個体の展示にあたり、群集事故防止にも考慮しながら観覧ルート設定・人員配置を工夫し展示を行いました。
	シンシオザル展示場への小屋設置	展示場に小屋を設置することで、採食・休息の様子を観察しやすくするとともに飼育個体の環境改善につなげました。
野毛山	ミナミコアリクイ展示場の改良及び脱柵防止策の向上	新規導入個体の身体的能力が高く、脱柵の恐れがあったため、展示柵上部の嵩上げを自家工事で実施しました。また、老朽化した止まり木や小屋等の改修も併せて実施しました。
	フラミンゴ・ダチョウ展示場への鳥インフルエンザ対策での防鳥ネット設置	高病原性鳥インフルエンザ防疫対策の一環で開閉式の展示場上部を覆う防鳥ネットを自家工事で設置しました。
金沢	スバルライチョウの展示場改修	観覧通路からの死角をなくすことで、観察ポイントを増やすことができました。
	カンガルー展示場へ日よけを設置	観覧通路のそばに日よけを設置することで、動物を近くで観察しやすくなりました。

## イ 動物園水族館事業、博物館事業への貢献

WAZA、日動水、神奈川県博物館協会の加盟団体として、当該団体の役割の一翼を担うことで、国内外における動物園水族館事業、博物館事業の推進に貢献しました。また、新たによこはま動物園長が日動水の会長に就任しました。

### 【各団体での役割一覧】

団体	役割	
WAZA	倫理動物福祉委員会 委員	
日動水	会長（新規）	
	総務委員会	倫理福祉部員
	教育普及委員会	委員長、普及啓発部員
	生物多様性委員会	種別計画管理者等 P. 27 参照
神奈川県博物館協会	理事	
	自然科学部会	幹事

## ウ SDGs への貢献

環境負荷の低減に向けた取組として、動物の飼育管理を通じた SDGs への貢献を進めました。

### 【動物の飼育管理を通じた SDGs への取組】

園名	取組概要
3 動物園	・ B 級品の青果や園内で発生した剪定枝を飼料に活用しました。
よこはま	・ 浄水場のろ過砂をゾウの床材に利用しました。
野毛山	・ 野毛山公園のどんぐり拾いをするボランティアを園内の SDGs のイベントと連動して募集し、拾ったどんぐりをツキノワグマへの餌として活用しました。
金沢	・ コーヒー滓（かす）をゾウなどの床材に利用しました。 ・ ゾウ糞のたい肥化と市内公園で活用しました。 ・ 保全管理計画に基づき園地の樹木を台切りし、萌芽更新を図るとともに、新芽の一部は動物の餌にも活用しました。

## エ 職員の努力

動物園の役割を果たすため、職員一人一人が各種の工夫・努力を行いました。

### 【職員が取り組んだ主な努力】

園名	取組概要
よこはま	・ モウコノロバの死亡を受け、次期展示種としてモウコノウマを選定し輸送に係る調整、展示場の改良まで着実に進め、新規動物種の展示を実現しました。 ・ 職員主導で動物捕獲訓練を行うとともに、自発的に「逸走事故対策マップ」を作成し、逸走事故発生時の対処のもととなるマップを作成しました。
野毛山	・ 令和 4 年 10 月、11 月にグレビーシマウマ・チンパンジーが誕生し、その近況を SNS で定期的に発信しました。 ・ 7 月よりなかよし広場でのふれあいを再開しました。動物福祉・コロナ禍に対応したふれあい方法、参加方法に変更しました。

金沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内竹林の整備、竹林周辺雑木林の再生に向けた下刈り、土留め、播種を実施し、それらの環境の維持管理を教育プログラムとして実施している。</li> <li>・ミゾゴイ野生復帰に向けた施設整備等の準備を実施しました。</li> </ul>
----	--

### ③ 計画的な繁殖管理

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案しました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組み、海外との連携強化に努めました。

#### 【主な繁殖動物】※は重点保全種

よこはま		野毛山		金沢	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
ニホンザル	2	アカエリマキキツネザル	2	コアラ	2
ドール	5	グレビーシマウマ	1	スーチョワンバーラル	2
リカオン	2	チンパンジー	1	アマミトゲネズミ※	8
レッサーパンダ	2	ルリゴシボタンインコ	5	ムカシツチガエル※	1,561
ケープハイラックス	1	オシドリ	12	ミヤコタナゴ※	55
フンボルトペンギン	2	クロツラヘラサギ	1	ホトケドジョウ※	8
ギンケイ	1	ミヤコカナヘビ※	13		
オウギバト	2				
8種 17点		7種 35点		6種 1,636点	

### ④ 動物の適切な管理

#### ア 防疫・衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察及び専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。治療にあたっては、最先端の獣医療を提供するオンデマンドサービスを活用することで、日々の外科的な処置等に役立てました。防疫面でも引き続き、コロナ、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の感染防止に努めました。

#### 【主な症例への対応】

園名	概要	効果
よこはま	大型動物用人工呼吸器付麻酔器を活用したホッキョクグマの麻酔下検査	悪性腫瘍であることを生前診断することができ、その後のQOLの維持につなげました。
野毛山	モルモットの採血方法	個体によっては取れないこともあった機側皮静脈からの採血に代わり、内股静脈から採血する工夫等を行いました。
金沢	ベアードバクへのお灸	便秘しがちの個体で時々投薬が必要だったのですが、週に1回お灸を行うことで、便秘が解消しました。

### イ 3園一体運営を活かした飼育管理

よこはま動物園でのホッキョクグマの麻酔下検査、オカピの麻酔下での削蹄等、金沢動物園でのインドサイの解剖等では、3動物園の獣医師の協力のもと実施し技術共有につなげました。また、高病原性鳥インフルエンザ発生の際には、よこはま動物園から金沢動物園へカモメ類を移動させ、防疫体制を整えました。インドゾウを飼育しているよこはま動物園と金沢動物園の2園館では、飼育管理および設備改修について月1回の定例会議により情報を共有することに努めました。

### (2) 保全に貢献する取組

#### ① 世界的に評価されうるといえる域外保全への取組

よこはま動物園では、令和3年3月にツシマヤマネコの人工授精による繁殖に国内ではじめて成功し、ツシマヤマネコの域外保全の取組を前進させることを目的に今年度も引き続き人工授精に挑戦しました。

#### ② 日動水等、国内外の保全に関わる機関、団体等と連携した保全への取組

当団体が多くの実績や技術を有する種については、率先して国内外の動物園関係団体との連携を図り、保全活動に努めました。また、日動水内の生物多様性委員会他の役割を担うことで、国内での保護・繁殖に積極的に携わりました。

#### 【役割一覧】

	役割		動物種等
国内	日動水生物多様性委員会	類別調整者	食肉類（副類別調整者）
		種別計画管理者	シロテテナガザル、ユーラシアカワウソ、マレーバク、インドサイ、ブラジルバク
		個体群管理者	オオカンガルー、ヤブイヌ、アラビアオリックス、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
		専門技術員	コアラ、フランソワルトン、スマトラトラ、ツシマヤマネコ、アジアゾウ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、ハウシャガメ、コツメカワウソ、マレーバク、テナガザル類
国外	国際ワーキンググループ* 参加	ヘサキリクガメ	

\*主要な国際保全組織に所属するカメの専門家が結成する組織横断的なグループ。CITES（ワシントン条約）やCBS（生物多様性保全）等に助言や勧告を行う。

また、連携協定等を締結した海外の地域団体や動物園と情報交換等を進めました。インドネシアとの保護協定に基づき、デングザルの飼育報告書の提出や繁殖のための継続的な調整を毎年実施している他、生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら調整を進めています。

#### 【連携団体等との主な取組】

項目	主な取組
台北市立動物園との連携	覚書に基づき、動物交換等の調整を行いました。

タイ王立動物園機構（ZPO）との連携	覚書に基づき、動物交換等の調整を行いました。
世界動物園水族館協会（WAZA）との連携	WAZAの会員として、年次総会へ参加して情報共有などに努めたほか、WAZAの管理する保全計画である種管理計画に協力して、野生動物保全に努めました。
東南アジア動物園水族館協会（SEAZA）との連携	年次総会へ参加し、情報共有および動物園での繁殖やエンリッチメント、動物福祉の取組を発信しました。また、カンムリシロムクの生息地である国立公園を訪問し、現地での情報収集に努めました。

### ③ 域内保全と連携した取組

日動水が環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、ツシマヤマネコ、ミヤコカナヘビ、トゲネズミ類の飼育・繁殖技術の確立を目指し、動物園での保全活動を行いました。新たに、金沢動物園ではアマミトゲネズミの生息域外保全の取組が認められ、環境省から横浜市初となる認定希少種保全動物園の認定を受けました。

#### 【域内保全と連携した主な取組】

項目	動物種	主な取組
環境省の保護増殖事業への協力	ツシマヤマネコ（よこはま）	人工繁殖に取り組むとともに、繁殖生理・栄養に関するデータ収集を行いました。
	ニホンライチョウ人工授精（よこはま）、展示（金沢）	繁殖センターと連携し、近似種のスバルバルライチョウの展示を通じて教育普及に貢献しました。また、ニホンライチョウの人工授精に取り組みました。
	ミヤコカナヘビ（野毛山）	飼育下繁殖技術の向上及び獣医学的・科学的知見の集積へ協力しました。
トゲネズミ類生息域外保全事業への協力	アマミトゲネズミ（金沢）	飼育下繁殖技術確立に取り組みました。
身近な野生動物の保全	ミゾゴイ（野毛山、金沢）	繁殖センターと連携し、野生復帰に向けた準備を行いました（金沢）。展示を通じて教育普及を行いました（野毛山）。
	ミヤコタナゴ（野毛山、金沢）	横浜市教育委員会が主導するミヤコタナゴ保護育成検討会及び関係機関と連携し保全活動に取り組みました。
	ミナミメダカ（横浜産）（野毛山、金沢）	飼育下繁殖に加え、ビオトープを整備し野外環境での飼育に取り組みました。
	ムカシツチガエル（金沢）	繁殖センターと連携して繁殖に取り組みました。
	ヤマアカガエル等（よこはま、金沢）	よこはま・金沢での生息調査を実施しました。

域内保全活動事業	オカピ（よこはま、金沢）	現地で活動するオカピ保全プロジェクトへ支援金を送付すると共に、世界オカピの日に合わせた普及活動に取り組みました。
インドネシア政府との保護協定	テングザル（よこはま）	1年間の飼育委任について覚書の締結を調整し、原契約の更新についても調整を継続しました。
希少植物の保全	エビネ等（金沢）	下草や倒木を片付け生育環境を整備しました。

#### ④ 傷病鳥獣の受入、治療、および野生復帰

ケガや病気により救護された野生鳥獣（鳥類・哺乳類）を治療し、野生に戻す取組を行いました。鳥インフルエンザ防疫対応以前までは、例年通り、巣立ち雛の誤認保護が多く、夏前では、成獣タヌキの疥癬症の保護が多い傾向が見られました。また、里山ガーデンフェスタ会場で「あなたのまわりの鳥たち」、金沢動物園で「なるほどアニマルホスピタル」等、身近な動物たちや傷病鳥獣保護事業を紹介するパネル展示を行いました。

※鳥インフルエンザ防疫対応のため令和4年9月30日から令和5年3月31日まで傷病鳥の受け入れを中止しました。

#### 【傷病鳥獣保護点数】

園名	点数	
	令和4年度	前年度比
よこはま	118点	-4点
野毛山	79点	+35点
金沢	214点	-132点
計	411点	-101点

#### ⑤ 保全のための人材育成に向けた取組

##### ア 職員の育成

職員の保全意識向上を図るため、野生動物保護研修やよこはま動物園園長による動物園学習、SDG s 研修等を実施しました。

##### イ お客様の保全意識向上に向けた取組

講演会やセミナー、パネル展示を実施するとともに、一部のものは、その効果についてもアンケート等を行うことで評価しました。

【主な取組と評価】※評価したプログラムは表中の「⇒」以降で記載

##### (ア) 複数園

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
飼育の日	4月19日（シイク）に合わせ、飼育係の仕事についてパネル展を通じて紹介し、動物園への理解を深める普及活動を実施しました。	よ：（3月16日）～5月9日 野：4月1日～5月1日	—

世界キリンの日 (よこはま、野毛山)	世界キリンの日にちなみ、3園で飼育しているキリンについて理解を深めてもらえるよう、パネル展にて紹介しました。	よ：6月15日～27日、 野：6月14日～30日	—
世界オカピの日 (よこはま、金沢)	野生のオカピの現状や生態についてのガイドの他、オカピに関する物販を実施し、売上の一部を寄付しました(よこはま)。オカピの生息地であるアフリカにちなんでアフリカンマーケットを実施しました。(金沢)	10月15日、 16日	よ：260人、 金：3,994人
公開飼育研究会	3園と横浜市繁殖センターで行っている調査研究の成果について、各施設1題ずつ発表しました。	2月26日	50人

(イ) よこはま

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーラシアスクール	神奈川県在住の小学高学年を対象に、連続講座を通して、動物や人、環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施しました。 ⇒半年間、毎回テーマを変えて、動物だけでなく環境についても深く学ぶことができました。	10月～3月 毎月1回実施	8人
世界カワウソの日	カワウソについて学べるパネル展示を実施しました。	5月18日～ 30日	—
海の生き物 SOS 展	海のゴミが野生動物に与える影響等を紹介する企画展と連続講座のワークショップを実施しました。 ⇒海に流れ出たプラスチックごみによる野生動物への影響を知ることができ、自分自身ができることを書き出すことで、自分事としてとらえることができました。	6月1日～ 8月29日 ワークショップ実施日：7月18日、25日	ワークショップ参加者：47人
世界ライオンの日	特別ガイドや連載ブログのほか、アフリカで活動する団体と連携して講演会を実施しました。 ⇒現地の実情を知ることにより、生息地の確保以外にも、教育や生息国の理解がライオンを保護するためには必要だという認識が広がりました。	ガイド：8月10日、11日 講演会：9月24日	講演会参加者：70人

(ウ) 野毛山

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界ペンギンの日	ペンギンの種類や、野生のペンギンの現状などを紹介するパネル展、動画放映を実施しました。	4月25日～ 5月8日	13人

国際レッサーパンダデー企画	9月16日の国際レッサーパンダデーを皮切りとして約1か月間パネル展、特別ガイド等を実施し、来園者の保全活動の一環として野生のレッサーパンダの保全活動を行う団体「レッドパンダネットワーク」への募金を実施し、域内保全への参加を呼びかけました。	9月17日～ 10月16日	29人
【新規】野毛山動物園セミナー2022「カグー今昔物語」	国内で野毛山動物園のみで見ることができるニューカレドニアの絶滅危惧種「カグー」を横浜で域外保全する意義や、動物園の役割など、カグーを守るために何ができるかを伝えました。また、参加者の声をパネルにてカグー舎前に展示しました。	講演会：10月15日 パネル展：11月7日～3月17日	講演会：28人 パネル展：144人
世界アライグマの日	アライグマの生態やアライグマの下顎の秘密、動物園で食べているエサなど、もっと知って欲しい、アライグマについてパネルを展示しました。	11月15日～3月31日	—
国際シマウマの日	野生のシマウマの現状や生態などについて紹介するパネルを展示し、誕生した子どもの「リアン」の成長をパネルや動画で紹介しました。	1月28日～2月26日	—
第18回動物たちのSOS展～守ろう生物多様性～	「生息地での野生動物の現状」、「ペットや製品として消費される野生動物」など動物園の動物たちが絶滅の危機に瀕している事実を広く知ってもらうこと、野生動物との関わり方、生物多様性の大切さを伝える企画を外部機関と協働で実施しました。令和4年度は新規団体としてみなとみらい本町小学校6年生のSDGsの取組を紹介するブースも出展しました。野生動物の現状を伝えるパネル展示も実施し、パネル展とブース展を回って動物たちのSOSを知りながらSDGsの達成を参加者の皆様と一緒に考えていくクイズラリーを実施しました。	3月1日～31日	30人

(エ) 金沢

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
Save the animals～あなたの知らない絶滅危惧種～	絶滅危惧種に関するクイズやガイド、ワークショップ等を実施しました。	4月29日～5月8日	30,057人
ズーレンジャークイズラリー	環境月間イベントとして、絶滅の危機に瀕している動物たちのクイズラリーを実施しました。	4月29日～6月30日	63,709人
「身近ないきものを知ろう」	身近に見られる生きものたちの解説パネルと、身近に観察できる昆虫の生態展示を実施しました。	7月16日～8月28日	—

世界ゾウの日	特別イベント「ゾウレンジャーの養成講座」と称し、小学生を対象としたインドゾウについてのレクチャーとワークショップを実施しました。	8月6日	15人
世界サイの日	サイを飼育している園館でTwitterのリレー投稿を実施しました。	9月7日～ 22日	—
Zoo to Wild Fes Autumn～身近な自然に触れてみよう	環境保全（特に人と自然の関わりについて）をテーマに、市内の環境保全団体等と協働した体験や展示を実施しました。	10月8日～ 10日	6,137人
国際テナガザルの日	シロテナガザル展示場前に絶滅が危惧されているテナガザルの野生での現状などに関するパネル展を実施しました。	10月24日～ 3月31日	—
Zoo to Wild セミナー「ハマのカエルたちと共に」	横浜市繁殖センター所長による横浜市内の野生のカエル類についての講演と飼育下個体の観察会を実施しました。	10月1日	15人
Zoo to Wild Fes Spring～楽しく学ぶSDGs	近隣企業に出展を依頼しSDGsの取組について紹介していただくとともに、クイズやパネル展示でわかりやすくSDGsを普及するイベントを開催しました。	3月18日、 19日	2,971人

その他、一般来園者を対象とした教育プログラムは、以下の6種をコロナの状況を見ながら実施しました。

園名	プログラム名	概要
3園	動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施しました。 ・とっておきタイム（よこはま） ・お食事タイム（野毛山） ・わくわくタイム（金沢） 等
よこはま	ガイドツアー	動物のエサを準備する台所等を見学するガイドツアーの代替プログラムとして、バックヤードに入らずに餌から動物について学べる「動物園の台所」を実施した他、動物の解説を聞ける特別な園内案内（ウォーキングツアー）を実施しました。
	ズーラシア どうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけのワークショップや講座を実施しました。
	アフリカのサバンナでの体験活動	動物のふれあいを中心とした体験活動（バードショー、ピグミーゴートとのふれあい、ラクダライド）を実施しました。※ピグミーゴートとのふれあい、ラクダライドは令和5年3月26日をもって終了。
野毛山	ガイドツアー	コロナ禍で中止していた「動物病院ガイドツアー」を9月に再開しました。当日受付でなく、参加希望者が平等に申し込める事前申込制に改善しました。

金 沢	ののはな教室	園内の自然をテーマにしたクラフトの製作等を実施しました。
--------	--------	------------------------------

### (3) 調査・研究などに対する取組

大学や研究機関と協力して動物に対する科学的な知識を深め、その情報を多くの方々と共有し、野生動物の保全に貢献しました。

#### ① 日本をリードする取組

よこはま動物園で飼育しているツシマヤマネコの健康管理のための非侵襲的ストレス指標として、糞中グルココルチコイド代謝物に関する論文が、動物に関する総合学術誌「Animals」に掲載され、野毛山動物園でのアカエリマキキツネザルの病態に関する論文が、解剖学の学術誌である「Anatomical Science International」に掲載され、全世界へ成果を共有・発信することができました。

#### ② 繁殖センター及び大学等外部機関との積極的な連携

大学や研究機関等との共同研究を通じて、効果的な研究を進めることができるよう取り組みました。特に、よこはま動物園では、国内でも研究報告がないウーリーモンキーの糞中ステロイドホルモンの測定を繁殖センターとの共同研究により、性周期の同定および繁殖に繋げることができ、妊娠が確認されました。また、金沢動物園では、社会構想大学大学院との共同研究で新たな手法を用いたパブリック・リレーションズを実施し、効率的な広報戦略を模索することができました。

#### 【共同研究件数】

園名	大学等外部機関との 研究件数 (前年度比)	繁殖センターとの 研究件数 (前年度比)
よこはま	7件 (-8件)	12件 (-1件)
野毛山	11件 (+3件)	2件 (±0件)
金沢	17件 (±0件)	2件 (-1件)
計	35件 (-5件)	14件 (-4件)

#### 【大学等外部機関との主な共同研究件数テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	日本大学	キリン ( <i>Giraffa camelopardalis</i> ) を対象とした行動学的調査
	日本獣医生命科学 大学	ユーラシアカワウソの泌尿器疾患に関わる研究
野毛山	東京農業大学	ミナミコアリクイの生殖生理に関する調査について
	人間総合科学大学	飼育下霊長類における他者認知・自己認知に関する調査について
金沢	日本大学	飼育下オオツノヒツジを対象とした展示場の違いによる行動比較
	鶴見大学	金沢動物園におけるヤマアカガエルの産卵数の確認調査

【繁殖センターとの主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	繁殖センター 岐阜大学	ウーリーモンキーの糞中性ステロイドホルモンの測定
		テングザルの繁殖生理に関する研究
野毛山	繁殖センター 岐阜大学	グレビーシマウマの性ステロイドホルモンの測定
		カメ類の親子判定
金沢	繁殖センター	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたアラビアオリックスの性周期のモニタリング
		糞中ホルモン測定によるカモシカの発情周期調査

③ 研究発表・論文投稿

調査・研究で得られた成果等を3園の職員間で共有するため、飼育研究会を各園で開催し、その成果を動物園研究会報として発行しました。また、顕著な成果については、学会等での発表や論文投稿に取り組みました。

【口頭発表・論文投稿件数】

園名	口頭発表件数（前年度比）	投稿記事、論文投稿件数（前年度比）
よこはま	15件（+3件）	2件（-2件）
野毛山	7件（+1件）	2件（±0件）
金沢	10件（±0件）	2件（±0件）
計	32件（+4件）	6件（-2件）

【口頭発表のテーマ例】

園名	発表先	テーマ
よこはま	第70回動物園技術者研究会	ベニハチクイの換羽に日照時間などが及ぼす影響
	第4回動物園水族館大学シンポジウム	ホンドタヌキ、野生に帰る。
野毛山	第21回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会（オンライン）	野毛山動物園における安全対策
	第32回日本動物園水族館両生類爬虫類会議	ハウシャガメの有精卵率と孵化率の調査
金沢	第63回日本動物園水族館協会教育研究会札幌大会	動物園のパブリック・リレーションズにおける広報機能の重要性（予報）～動物園へのアンケート調査から～
	第21回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会（オンライン）	アラビアオリックスのペアリング時の安全管理について

【投稿記事・論文発表】

園名	発表先	テーマ
よこはま	日本動物園水族館雑誌 第 63 巻第 2 号	腰椎骨折のホンドタヌキに対しエポキシパテを用いた創外固定による治療の一例
	日本動物園水族館雑誌 第 27 巻第 2 号	タンチョウの上腕骨骨折に対するエポキシパテを用いた創外固定法の治療例
野毛山	Animals 2022, 12, 1072.	Fecal Glucocorticoid Metabolites as a Noninvasive Indicator of Stress in the Tsushima Leopard Cats ( <i>Prionailurus bengalensis euphilurus</i> ): Application to Health Care ツシマヤマネコにおける非侵襲的ストレス指標としての糞中グルココルチコイド代謝物：健康管理への適用
	Anatomical Science International	The red ruffed lemur, <i>Varecia rubra</i> ; a comparative morphology investigation of lingual papillae and connective tissue cores アカエリマキツネザル：舌乳頭および結合組織コアの形態比較研究
金沢	日本動物園水族館雑誌 第 65 巻第 1 号	短報「水分摂取不足と高濃度代用乳給与により食塩中毒を発症した人工哺育オオツノヒツジの 1 例」
	たたらはま No26- 40(2022)	横浜市金沢区におけるコンジテンナガエビの記録

④ 研究成果の市民、来園者等への積極的な発表や還元

野毛山動物園では、コロナ禍で約 2 年半休止としていたなかよし広場での小動物とのふれあいについて、実施方法の見直しを行い、再開するにあたって、実施方法を変更の考え方や再開までの期間に取り組んだ事例、準備してきた事等をまとめ、合同飼育研究会（一般来園者に公開）で発表し、ふれあい方法の見直しについて理解を深めることが出来ました。

5 施設等の維持管理

(1) 施設及び設備の維持管理

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

修繕は、劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。そのほか今後の適切かつ円滑な施設修繕等に役立てるため、水道の現況図面の作成などを引き続き実施しました。また、手すりや看板、ベンチの再塗装・更新など、利用者が快適・安全に過ごせるような維持管理を積極的に行いました。

【主な取組】

園名	概要
よこはま	ろ過タンク等ろ過材交換、園内上水・工水の現況図面作成 等
野毛山	猛獣舎天窓改修、爬虫類館外階段補修、ベビーシート交換 等

金沢	ののほな館パーゴラ再塗装、しいのき山トイレ洋式化、藤棚の更新 等
----	----------------------------------

- ① 3園が連携した維持管理体制を確立  
「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

- ② 維持管理計画（修繕計画含む）に基づく計画的な業務  
各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

**【修繕作業・工事实施実績】**

園名	件数	
	令和4年度	令和3年度
よこはま	126件	232件
野毛山	46件	71件
金沢	119件	140件
計	291件	443件

- ③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備  
公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

- ④ コスト削減を可能にする維持管理  
安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようにこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

**【主な修繕実績】**

園名	主な修繕
よこはま	サバンナテラスドーム防水修繕、1ゾーン展示場人止め柵他修繕、バスロータリーベンチ修繕、ニホンザル舎ろ過設備ボールバルブ修繕、オナガザル舎空調機修繕、ペンギン舎水槽床面再塗装等修繕 等
野毛山	遊具広場スパイラルスライダー撤去修繕、吊り橋桁その他クラック補修修繕等
金沢	なかよしトンネル他消防設備修繕、わくわく広場他園路不陸修繕、ローラー滑り台修繕、植物区手すり他修繕、管理事務所空調機修繕 等

**(2) 園地及び遊具等の維持管理**

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行いました。また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行うことにより、各園の魅力を高めました。

特にナラ枯れについては、拡散防止及び利用者の安全確保を目的とし、枯損木の適切な処理を重点的に実施しました。

**【主な取組】**

園名	概要
よこはま	チンパンジー展示場等整備、サクラ樹勢回復
野毛山	外周部除草、利用頻度に合わせた草刈り
金沢	遊具修繕及び再塗装、高木剪定、園内各所舗装修繕

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアル等により高水準な維持管理を確保しました。また、横浜市内の官公需適格組合「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

② 園地の維持管理（快適な園地環境の提供）

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等の機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミスの防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合な部分がないか、近いうちに支障が生じるであろう場所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

(3) 施設及び設備等の安全対策

利用者の安心、安全の利用環境を提供するため、定期点検等を実施しました。また、よこはま動物園で発生した水質事故をふまえ薬品等取扱マニュアルを作成し、薬品タンクの定期点検方法、流出時の初期対応フロー及び流出した薬品の処理方法等を周知徹底しました（再掲）。

【点検実施実績】

園名	点検名	実施回数等
3園	日常点検	毎開園日
	定期点検	年4回
	法定点検	設備に応じた点検頻度
	臨時点検・緊急点検	適宜

① 施設及び設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のため、公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

② 施設の安全対策

安全性と快適性を特に重視し、維持管理を実施しました。定期点検は、「公園施設点検チェックシート」を使用して実施し、結果を市に報告しました。

## 6 管理運営経費実績

### (1) 算定の考え方

以下の通り、収入の増加と管理運営経費の削減に取り組みました。

#### ① 収入増加の取組

各種広報、地域連携活動やイベントの実施により、積極的に集客対策に取り組みました。既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は8社、野毛山動物園は1社と協賛契約を締結しました。また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度や野毛山動物園募金、クラウドファンディング等外部資金を活用しました (P. 20~22 参照)。

このほか、3園のショップ・レストランの運営事業者と調整の上、金沢の40周年事業に向けた商品開発、全国旅行支援「いざ、神奈川！」に参画し、コロナの影響により低下した売り上げを補うための収益増加に努めました。

#### ② 経費削減の取組

3園一体での共同発注を行い、経費の削減に取り組むと共に、適宜発注方法や契約内容の見直しを行うことで効率化を図りました。

なお、文化庁による「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（補助金）」や神奈川県による「観光客受入環境整備費補助」に応募し、助成金を受けることで経費削減に努めました。

#### 【主な三園共同発注】

園地管理業務	動物用飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フロアマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

#### ③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

#### ④ 委託

直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	緑化推進事業					収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
基本財産受取利息	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
特定資産運用益	29,601,212	0	665	0	29,601,877	35	0	0	29,601,912
特定資産受取利息	29,601,212	0	665	0	29,601,877	35	0	0	29,601,912
事業収益	0	1,280,077,972	2,939,310,497	0	4,219,388,469	1,379,904,688	0	0	5,599,293,157
事業収益	0	1,280,077,972	2,939,310,497	0	4,219,388,469	1,379,904,688	0	0	5,599,293,157
受取補助金等	979,560	668,520	387,000	0	2,035,080	114,000	0	0	2,149,080
受取国庫補助金	0	0	387,000	0	387,000	114,000	0	0	501,000
受取横浜市補助金	979,560	0	0	0	979,560	0	0	0	979,560
受取補助金等振替額	0	668,520	0	0	668,520	0	0	0	668,520
受取負担金	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取寄付金	6,919,564	1,957,094	16,878,249	0	25,754,907	0	0	0	25,754,907
受取寄付金	6,919,564	1,461,261	0	0	8,380,825	0	0	0	8,380,825
受取寄付金振替額	0	495,833	16,878,249	0	17,374,082	0	0	0	17,374,082
雑収益	1,425,413	1,315,436	465,121	0	3,205,974	3,736,217	1,367,030	0	8,309,221
受取利息	4	0	0	0	4	529	0	0	533
雑収益	1,425,413	1,315,436	465,121	0	3,205,970	3,735,688	1,367,030	0	8,309,688
経常収益計	38,925,753	1,284,019,022	2,957,041,532	70,500	4,280,056,807	1,383,805,373	1,367,030	0	5,665,229,210
(2) 経常費用									
事業費	82,416,494	1,401,853,532	3,108,802,546	0	4,593,072,572	1,029,182,218	0	0	5,622,254,790
役員報酬	224,560	842,100	1,066,660	0	2,133,320	449,120	0	0	2,582,440
役員賞与	36,000	135,000	171,000	0	342,000	72,000	0	0	414,000
給料手当	32,228,359	284,572,540	849,489,977	0	1,166,290,876	127,563,172	0	0	1,293,854,048
賞与引当金繰入額	2,043,016	22,080,224	75,573,756	0	99,696,996	5,419,302	0	0	105,116,298
賞金	4,167,184	198,278,754	55,531,762	0	257,977,700	71,393,939	0	0	329,371,639
退職給付費用	1,920,569	4,560,835	40,483,695	0	46,975,099	5,106,461	0	0	52,081,560
法定福利費	6,142,489	65,122,289	150,515,886	0	221,780,664	25,401,323	0	0	247,181,987
福利厚生費	294,022	7,019,963	5,920,891	0	13,234,876	832,726	0	0	14,067,602
教育研修費	117,842	1,491,197	1,816,896	0	3,425,935	308,113	0	0	3,734,048
旅費交通費	629,642	2,610,123	5,420,398	0	8,660,163	1,132,626	0	0	9,792,789
通信運搬費	504,367	7,589,212	6,292,149	0	14,385,728	2,642,903	0	0	17,028,631
減価償却費	124,652	3,329,092	16,876,810	0	20,330,554	43,919,721	0	0	64,250,275
公施設負担金償却費	0	0	0	0	0	41,963,432	0	0	41,963,432
消耗什器備品費	38,775	5,812,300	4,218,369	0	10,069,444	1,973,798	0	0	12,043,242
指定管理対象財産購入費	0	1,868,240	9,303,881	0	11,172,121	0	0	0	11,172,121
消耗品費	9,936,003	40,410,926	217,513,509	0	267,860,438	7,274,086	0	0	275,134,524
修繕費	6,860	38,677,718	104,157,340	0	142,841,918	11,182,942	0	0	154,024,860
印刷製本費	208,655	3,833,911	13,970,840	0	18,013,406	7,381,827	0	0	25,395,233
燃料費	40,883	2,420,338	2,191,663	0	4,652,884	105,922	0	0	4,758,806
光熱水料費	322,052	150,945,356	350,770,278	0	502,037,686	23,148,640	0	0	525,186,326
賃借料	2,912,336	21,667,540	38,585,505	0	63,165,381	62,844,783	0	0	126,010,164
管理許可使用料	0	0	0	0	0	244,940,003	0	0	244,940,003
保険料	33,261	1,522,623	1,638,092	0	3,193,976	1,856,495	0	0	5,050,471
諸謝金	462,536	7,207,703	3,499,132	0	11,169,371	291,669	0	0	11,461,040
交際費	7,668	233,837	121,119	0	362,624	4,992	0	0	367,616
渉外費	1,427	413,091	82,433	0	496,951	0	0	0	496,951
諸会費	0	105,000	3,627,170	0	3,732,170	212,500	0	0	3,944,670
租税公課	145,371	44,211,765	103,766,718	0	148,123,854	62,868,979	0	0	210,992,833
支払負担金	12,238,520	2,179,140	1,550,967	0	15,968,627	257,280	0	0	16,225,907
支払助成金	3,064,437	0	0	0	3,064,437	0	0	0	3,064,437
支払寄付金	1,250,000	0	2,561,435	0	3,811,435	0	0	0	3,811,435
委託費	3,056,672	480,793,147	1,017,629,198	0	1,501,479,017	241,096,747	0	0	1,742,575,764
手数料	211,844	892,357	10,052,542	0	11,156,743	1,771,736	0	0	12,928,479
広告費	46,492	784,644	14,354,769	0	15,185,905	217,142	0	0	15,403,047
仕入代金	0	0	0	0	0	35,488,497	0	0	35,488,497
雑費	0	242,567	37,706	0	280,273	59,342	0	0	339,615
管理費									
役員報酬							36,051,204	0	36,051,204
役員賞与							10,096,680	0	10,096,680
給料手当							1,646,000	0	1,646,000
賞与引当金繰入額							8,984,805	0	8,984,805
賞金							841,368	0	841,368
退職給付費用							408,981	0	408,981
法定福利費							866,707	0	866,707
福利厚生費							1,956,957	0	1,956,957
教育研修費							242,298	0	242,298
会議費							119,102	0	119,102
会費							3,628	0	3,628
旅費交通費							176,363	0	176,363
通信運搬費							466,354	0	466,354
減価償却費							56,650	0	56,650
消耗什器備品費							40,983	0	40,983
消耗品費							1,116,097	0	1,116,097
修繕費							7,250	0	7,250
印刷製本費							183,607	0	183,607
燃料費							1,718	0	1,718
光熱水料費							340,396	0	340,396
賃借料							2,335,617	0	2,335,617
保険料							5,041	0	5,041
諸謝金							3,450,801	0	3,450,801
交際費							210,254	0	210,254
渉外費							23,870	0	23,870
諸会費							459,400	0	459,400

科 目	経費					収益事業等合計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計	
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計					
租税公課							115,390		115,390	
支払負担金							221,600		221,600	
支払助成金							504,000		504,000	
委託費							929,372		929,372	
手数料							190,775		190,775	
広告費							49,140		49,140	
経常費用計	82,416,494	1,401,853,532	3,108,802,546	0	4,593,072,572	1,029,182,218	36,051,204	0	5,658,305,994	
評価損益等調整前当期経常増減額	△43,490,741	△117,834,510	△151,761,014	70,500	△313,015,765	354,623,155	△34,684,174	0	6,923,216	
基本財産評価損益等	0	0	0	△21,913	△21,913	0	0	0	△21,913	
特定資産評価損益等	△8,161,537	0	0	0	△8,161,537	0	0	0	△8,161,537	
評価損益等計	△8,161,537	0	0	△21,913	△8,183,450	0	0	0	△8,183,450	
当期経常増減額	△51,652,278	△117,834,510	△151,761,014	48,587	△321,198,215	354,623,155	△34,684,174	0	△1,260,234	
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
投資有価証券売却益	1,088,000	0	0	0	1,088,000	0	0	0	1,088,000	
経常外収益計	1,088,000	0	0	0	1,088,000	0	0	0	1,088,000	
(2) 経常外費用										
固定資産除却損	0	0	3	0	3	101,742	0	0	101,745	
経常外費用計	0	0	3	0	3	101,742	0	0	101,745	
当期経常外増減額	1,088,000	0	△3	0	1,087,997	△101,742	0	0	986,255	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△50,564,278	△117,834,510	△151,761,017	48,587	△320,111,218	354,521,413	△34,684,174	0	△273,979	
他会計振替額	0	0	0	301,379,251	301,379,251	△338,823,980	37,444,729	0	0	
うち収益の繰入	0	0	0	301,379,251	301,379,251	△301,379,251	0	0	0	
うち資産の移転	0	0	0	0	0	△37,444,729	37,444,729	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△50,564,278	△117,834,510	△151,761,017	301,427,838	△18,731,967	15,697,433	2,760,555	0	△273,979	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	13,284,600	0	0	13,284,600	
当期一般正味財産増減額	△50,564,278	△117,834,510	△151,761,017	301,427,838	△18,731,967	2,412,833	2,760,555	0	△13,558,579	
一般正味財産期首残高						284,069,331	2,799,259,220	1,717,049	0	3,085,045,600
一般正味財産期末残高						255,337,364	2,801,672,053	4,477,604	0	3,071,487,021
II 指定正味財産増減の部										
受取寄付金	4,573,816	100,000	30,707,484	0	35,381,300	0	0	0	35,381,300	
基本財産評価損	0	0	0	11,087	11,087	0	0	0	11,087	
特定資産評価損	72,743,988	0	0	0	72,743,988	0	0	0	72,743,988	
一般正味財産への振替額	0	△1,154,353	△15,878,249	0	△18,042,602	△50,433	0	0	△18,093,035	
当期指定正味財産増減額	△68,170,172	△1,054,353	13,829,235	△11,087	△55,416,377	△50,433	0	0	△55,466,810	
指定正味財産期首残高						2,603,993,810	100,875	0	2,604,094,685	
指定正味財産期末残高						2,548,577,433	50,442	0	2,548,627,875	
III 正味財産期末残高						2,813,914,797	2,801,722,495	4,477,604	0	5,620,114,896

【参考資料】

1 金沢動物園開園 40 周年の取組

実施日	内容	カテゴリー
4月1日～12月31日	開園 40 周年特設HP	広報
8月 27 日	【新規】開園 40 周年記念 クラウドファンディング「インドゾウの自動給水装置」除幕式	市民協働
(3月 19 日)～5月 31 日	開園 40 周年記念「写真で紡ぐ、思い出の中の金沢動物園」	イベント
(3月 19 日)～12月 28 日	開園 40 周年記念「金沢動物園 今昔パネル展」	
4月2日、3日、9日、10日	【新規】開園 40 周年記念 アニア×金沢動物園コラボイベント	
座学：5月 20 日 園内見学：6月 3 日	【新規】開園 40 周年記念 京急百貨店 KOTONOWA 特別企画「さあ～動物園へ行こう！～楽しみ方はあなた次第～」	
12月3日	【新規】40 周年記念 京急キッズチャレンジ「キリン飼育員のお仕事体験！」	

2 広報印刷物実績

<3園>

発行時期	広報印刷物名
令和4年7月	よこはま夜の動物園 2022 ポスター B1 版 134 枚、B3 版 3,068 枚

<よこはま>

発行時期	広報印刷物名
令和4年4月	園内マップ 日本語版 250,000 部 外国語版 3,000 部
令和4年6月	イベントガイド夏号(イベント平日のみ版)6,000 部、イベントガイド夏号(通常版)24,000 部
令和4年7月	夏イベントポスター B1版 219 部、B3版 2,595 部 夏イベントチラシ A4版 31,150 部 ナイトズーラシア専用マップ A4版 30,000 部
令和4年8月	ドリームナイトアットザズー専用マップ A4版 700 部 園内マップ(外国語版)5,000 部
令和4年9月	秋イベントポスター B1版 216 部、B3版 2,595 部 イベントガイド秋号 50,000 部 園内マップ(日本語版) 30,000 部
令和4年 10 月	園内マップ(日本語版) 160,000 部
令和4年 12 月	冬イベントポスター B1版 248 部、B3版 2,465 部 イベントガイド冬号 30,000 部
令和5年2月	冬ポスター B1版 86 部、B3版 115 部
令和5年3月	春イベントポスター B1版 248 部、B3版 2,473 部 イベントガイド春号 50,000 部 園内マップ 日本語版 230,000 部 外国語版 5,000 部

<野毛山>

発行時期	広報印刷物名
令和4年6月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 夏号 第 96 号 1,000 部、のげやまどうぶつえんだより 初夏号 200 部
令和4年7月	のげやまどうぶつえんだより 夏号 200 部
令和4年8月	野毛山動物園秋イベントポスター B1版 63 部・B3版 1,470 部
令和4年9月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 秋号 第 97 号 1,300 部、のげやまどうぶつえんだより 秋号 500 部
令和4年 10 月	のげやまどうぶつえんだより 冬号 300 部
令和4年 11 月	野毛山動物園冬イベントポスター B1版 146 部・B3版 1,500 部
令和4年 12 月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 冬号 第 98 号 1,000 部
令和5年1月	野毛山動物園春イベントポスター B1版 66 部・B3版 1,501 部、のげやまどうぶつえんだより 冬号②300 部
令和5年2月	のげやまどうぶつえんだより 春先取り号 500 部
令和5年3月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふお〜し〜ず〜ん 春号 第 99 号 1,500 部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和4年4月	金沢動物園だより4月号 250 部
令和4年5月	金沢動物園だより5月号 300 部、園内マップ(40周年版) 50,000 部
令和4年6月	金沢動物園だより6月号 200 部
令和4年7月	金沢動物園だより7月号 200 部
令和4年8月	金沢動物園だより8月号 250 部、秋ポスターB1版 145 部・B3版 1,370 部
令和4年9月	金沢動物園だより9月号 250 部
令和4年 10 月	金沢動物園だより 10 月号 300 部
令和4年 11 月	金沢動物園だより 11 月号 250 部、冬ポスター B1版 145 部・B3版 1,270 部
令和4年 12 月	金沢動物園だより 12 月号 200 部
令和5年1月	金沢動物園だより1月号 200 部、園内マップ(40周年終了版)50,000 部
令和5年2月	金沢動物園だより2月号 250 部、春ポスター B1版 145 部・B3版 1,280 部
令和5年3月	金沢動物園だより3月号 300 部、園内マップ(英語版)8,000 部

3 ホームページでの情報発信実績

<三園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成 28 年7月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま>

特設サイト

名称	時期	内容
ズーラシア夜市	令和4年7月、8月	ナイトズーラシアと同時開催となる、夜市についての見どころ等を紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成 19 年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成 19 年5月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年3月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年9月8日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月1日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成 27 年9月1日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介
ズーラシア春夏秋冬	令和3年4月 1 日～	飼育動物以外の園内で見られる動植物を紹介

<野毛山>

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年4月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年5月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年7月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～ TRY ON～	平成 29 年6月～	トラとライオンの日々の様子を紹介

<金沢>

特設サイト

名称	時期	内容
開園 40 周年記念特設サイト	令和3年 10 月～	令和4年3月 17 日の金沢動物園開園 40 周年に関連する情報を発信するサイト

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
ちっちゃないきものたち	平成 29 年 5 月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和 2 年 8 月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介

#### 4 寄付を活用した展示場改修等の実績

##### <よこはま>

財源	概要
アニマルペアレント	アカハナグマ展示場の止まり木、小屋更新
寄付	モウコノウマ展示場改修、ウンピョウ展示場擬木設置等改修

##### <野毛山>

財源	概要
アニマルペアレント	エンリッチメント用具の購入
寄付	ペンギン日よけ設置

##### <金沢>

財源	概要
アニマルペアレント	インドゾウ展示場での体かき用丸太設置
	ニホンカモシカ餌箱修繕
寄付	オオカンガルー展示所日よけ設置
	ほのぼの広場動物用日よけ設置
クラウドファンディング	インドゾウ展示場自動給水装置の設置
	インドゾウ展示場自動給餌機の設置
	インドゾウ寝室ベルトコンベアー式給餌機の設置

#### 5 学校教育向けプログラム実績

##### <来園プログラム>

##### 3園または2園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
① どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介(DVDの貸し出しによる実施を含む)	1,505(よ) 835(野) 1,965(金)
② どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	56(よ) 905(金)
③ 動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	208(よ) 1,150(金)
④ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	326(よ) 340(野) 801(金)
⑤ 職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	68(よ) 16(野) 19(金)
⑥ 職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	12(よ) 10(野) 15(金)

⑦ 職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	0(よ) 49(野) 4(金)
------------	----------------------------	-----------------------

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
⑨ なりきり獣医さん	獣医の仕事についてのお話と、獣医の仕事道具の聴診器等を用いた体験型プログラム	0
⑨ ズーラシアの飼育員	動物園の役割や飼育員の仕事内容等を解説	72
⑩ 動物福祉の取組	よこはま動物園の特徴や動物福祉の取組等を解説	286
⑪ しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方を紹介	132
⑫ オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	0
⑬ 色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	372
⑭ 獣医師のお仕事	写真を用いて動物のケガや病気を説明	1,248
⑮ 獣舎バックヤードツアー	動物の寝室と飼料庫(餌置き場)に案内し、解説	719

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑯ 虫はかせになろう	昆虫の説明と身近な生き物の観察	258
⑰ 動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	1,767
⑱ ヒツジはかせになろう	家畜動物との関わりとその実用例について学ぶ	廃止
⑲ ゾウのトレーニングガイド	ゾウのトレーニングの様子を、ガイドを聞きながら見学	1,311
⑳ キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	974
㉑ 動物のたんじょう	動物の誕生の仕組みを動物園での繁殖事例をもとに説明	廃止
㉒ 固有種が教えてくれること	小5国語「固有種がおしえてくれること」に合わせた動物園内での固有種の説明など	250

<出張プログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
㉓動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについての解説(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	1,411(よ) 270(野) 797(金)
㉔飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	1,225(よ) 692(野) 2,256(金)
㉕動物たちにズームイン	クイズを通じた動物の解説	236(よ) 159(野) 259(金)
㉖職業講話	飼育員や動物園の仕事の解説	552(よ) 754(野)

		427(金)
--	--	--------

野毛山動物園

プログラム名	概要	参加人数
㊦かんさつ名人になろう!	専用のワークシートを使用した、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法、観察方法の解説	684

<学校等と創り上げるプログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	学校の要望に合わせて、学習プログラムを用意(園内での対面、DVDの貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む。)1回の出張もしくは来園で実施するプログラム	165(よ) 0(野) 2,023(金)
連携授業	学校の要望に合わせて、動物の生態や動物園の役割等を先生や児童等と連携授業計画を作成。2回以上(原則1回以上来園)連続して実施するプログラム。(オンラインでの実施含む)	309(よ) 937(野) 666(金)

<小動物ふれあいプログラム>

野毛山

プログラム名	概要	参加人数
小動物観察プログラム	コロナ対応の代替え観察プログラム	458
小動物ふれあいプログラム	モルモットやハツカネズミ等とのふれあいプログラム	4,799

6 動物園研究会実績

<よこはま> 12題

発表日	タイトル	テーマ
5月6日	ホンドタヌキのお話し	ホンドタヌキ
6月10日	よこはま動物園で安全に動物飼育をするために	安全衛生
7月30日	早期療育で学んだこと～動物園での取り組みに活かすアイデア～	教育普及
8月16日	ズーラシア×オカピ保全プロジェクト オンラインシンポジウム実施報告	イベント
9月30日	よこはま市動物園友の会 ズーラシアにおける近年の例会の変遷	イベント
10月26日	マレーバクの人工哺育について	マレーバク
11月16日	インドゾウにおける自動給餌器の導入と効果検証	インドゾウ
11月16日	令和4年コウノトリ有精卵移動について	コウノトリ
12月27日	コンゴウインコの問題行動対策の実施報告	コンゴウインコ
1月24日	レッサーパンダの出産と子育て	レッサーパンダ
2月28日	ケープハイラックス～繁殖と経過報告～	ケープハイラックス
3月22日	派生物のみでの教育普及イベントの実施について	教育普及

野毛山 12題

実施日	タイトル	テーマ
4月29日	アカエリマキキツネザルの腸炎が今年は大丈夫だった件について	アカエリマキキツネザル

5月27日	オシドリの雛の死亡から得られた知見	オシドリ
6月30日	失敗から学んだキジ類の人工孵卵(育雛)	キジ類
7月29日	ふれあい再開に向けての取り組み	なかよし広場
8月29日	野毛山のクラウドファンディングから見る現状と課題	クラウドファンディング
9月30日	令和3年度のガイドを振り返って	ガイド
10月29日	SNSを活用した広報および集客対策について	SNS
11月11日	ホウシャガメのこと	ホウシャガメ
12月17日	園内飼育爬虫類におけるサルモネラ属菌保有状況調査	サルモネラ
2月2日	国際レッサーパンダデーの取り組みとその評価	レッサーパンダ
3月2日	グレビーシマウマの妊娠出産報告	グレビーシマウマ
3月30日	鳥インフルエンザパンデミックと動物園研究	動物園研究

金沢 12題

実施日	タイトル	テーマ
5月22日	アマミトゲネズミ 新規導入と飼育経過について	アマミトゲネズミ
6月24日	アラビアオリックスのペアリング時の安全管理について	アラビアオリックス
8月21日	野鳥調査報告	野鳥
10月30日	飼育動物による森林資源の消費と金沢自然公園の保全管理について	保全管理
11月18日	金沢動物園における保全活動～園内に生育するキンランの保全～	保全管理
11月30日	三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」を使用した褥瘡予防	治療
12月2日	コアラの繁殖	コアラ
12月5日	インドゾウ寝室の夜間自動給餌機について	インドゾウ
1月6日	動物園のパブリック・リレーションズにおける広報機能の重要性(予報) ー動物園へのアンケート調査からー	広報
1月9日	リクガメの餌の組み立て方	リクガメ
2月28日	クロサイの今後のケアとトレーニングについて	クロサイ
3月24日	オオツノヒツジの3か月間の採血馴致の経過報告	オオツノヒツジ